

| | |
|------|---|
| 施策番号 | 7 |
|------|---|

施策評価シート（評価対象年度：令和元年度）

| | | |
|--------------|--|-------|
| 基本政策 | 2 | 健康・福祉 |
| 施策名 | 7 | 健康づくり |
| 10年後のまちの姿 | ○市民が疾病の予防や悪化防止に努め、生きがいや張り合いを感じながら生活を送っています。 | |
| 施策展開の基本的な考え方 | 行政は、市民の心と体の健康を守るため、健康に関する啓発や専門的な指導、市民活動に対する支援等を行います。市民等は、自分の健康は自分で守るという意識の下、適切な生活習慣を心がけるとともに改善し、各種健康診査や元気づくりプログラム等に積極的に参加するとともに、関心のあるボランティア活動に参加します。 | |
| 実現に向けた取組 | ①ライフステージに合わせた健康づくりの推進 ②早期発見・早期治療の体制強化 ③元気・ふれあい・生きがいづくりの推進 | |
| 施策担当課・係 | 健康づくり課 元気応援係 | |
| 施策関係課・係 | 市民生活課 ほけん年金係、福祉介護課 地域包括支援センター係 | |

I 施策の実施状況

1 施策全体の事業費

| | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 |
|-------------|---------|---------|---------|-------|-------|
| 事業費（千円） | 218,971 | 222,511 | 202,914 | | |
| 事務事業数 | 19 | 19 | 21 | | |
| うち、事務事業評価対象 | 12 | 12 | 12 | | |

2 成果指標の達成状況

| 指標 | 単位 | 基準値 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和3年度 中間目標 | 令和8年度 最終目標 |
|--|----|------|--------|--------|-------|-------|-------|---------------|---------------|
| 国民健康保険加入者の特定保健指導該当者出現率 | % | 12.5 | 12.8 | 12.4 | 未 | | | 11.0 | 10.0 |
| 8020（20本以上の歯を有する75歳から84歳まで）を達成している市民の割合（アンケート調査） | % | 36.2 | 未 | 未 | 43.2 | | | 40.0 | 45.0 |
| 1回30分以上の運動を週2回以上実施し、1年以上継続している市民（男）の割合（アンケート調査） | % | 13.7 | 未 | 未 | 21.1 | | | 20.0 | 26.9 |
| 1回30分以上の運動を週2回以上実施し、1年以上継続している市民（女）の割合（アンケート調査） | % | 12.4 | 未 | 未 | 17.9 | | | 15.0 | 19.2 |
| 胃がん検診受診率 | % | 17.8 | 22.5 | 21.1 | 19.8 | | | 19.0 | 20.0 |
| 自分は健康だと思う市民の割合（アンケート調査） | % | 77.1 | 未 | 未 | 81.0 | | | 80.0 | 80.0 |

3 施策の進捗状況

| | |
|-------------|---|
| 達成度 | ○ 概ね順調 |
| 達成度の判断根拠 | 特定保健指導該当者出現率は年々減少しているが、目標値にはわずかに達していない。胃がん検診受診率は目標を達成している。アンケート調査では8020を達成している市民の割合、運動を習慣的に行っている男女の割合は増加していた。健康だと思う市民の割合は増加しており、目標値から1%高くなっていた。全体では6項目中5項目が成果指標の中間目標を達成していた。 |
| 成果指標による現状分析 | 特定健診の詳細な健診の対象、特定保健指導実施期間などの変更が平成30年度にあり、変更時に健診や保健指導の実施方法を検討しながら胎内市国民健康保険第2期保健事業実施計画に基づき実施し、特定健診受診率は特定保健指導該当者出現率は年々減少しているが、目標値にはわずかに達していない。 がん検診は県のガイドラインに基づく実施に変更し、無料クーポン事業も縮小したが、再通知を行うなど受診勧奨し、胃カメラ検診の体制整備を行い胃がん検診受診率は目標を達成している。 元気づくりプログラムでの歯の健康のPRなど、市民への歯の健康意識を高めるかわりを実施していたためか8020を達成している市民の割合は増加していた。 元気ふれあい広め隊のウォーキングイベント、元気づくりプログラムなど誰でもが参加しやすい運動を進めており習慣化している男女の割合は増加していた。 胎内市の健康づくりについて認知度は30.8%と低いが、健康だと思う市民の割合は増加しており、目標値とほぼ同率となっていた。 |

4 取組の状況と今後の方向性

① ライフステージに合わせた健康づくりの推進

| 施策の内容 |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・メタボリック症候群対策、糖尿病対策、ロコモティブ症候群対策、子どもの肥満対策等、目的や年齢に合わせた生活習慣改善のための知識や実施方法の普及に努めます。 ・全身の健康維持につながる歯と口腔の健康のため、歯科健診や歯科指導の拡充を図ります。 ・ほっとHOT・中条、にこ楽・胎内、ふれすぽ胎内の利用促進等の方策を検討し、運動に取り組めるような仕組みを構築します。 |
| これまでの主な取組と実績 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・30歳代の市民、40歳以上の国保加入者、後期高齢者に集団の特定健診及び結果説明会を実施。 ・40歳以上の国保加入者には、指定医療機関で個別の特定健診も実施。 ・35歳以上の国保加入者及び後期高齢者に人間ドック費用助成を実施。 ・食生活改善推進委員や食育PR隊の協力を得ながら、子どもたちやその親世代に対してバランスの良い食事の普及啓発事業を実施。 ・メタボ該当者に特定保健指導を集団または個別に実施。 ・妊産婦・成人歯科健診、1歳親子歯科健診での歯科保健指導を実施。令和元年度から76歳、80歳の後期高齢歯科健診を開始した。 ・ほっとHOT・中条、にこ楽・胎内、ふれすぽ胎内を活用して、運動習慣が身につくための各種教室の実施及び運動継続を目指した市民活動の支援を実施。ふれすぽ胎内に体操教室を委託したが、運動強度が強いプログラムだったため運動習慣がすでにある参加者が多く、ねらいとした運動習慣の少ない参加者は少ない結果だったため委託をやめた。 |
| 主な課題と今後の対応 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・特定健診の集団では国保加入者の受診数は低下し、後期高齢者の受診数は増加している。結果説明会の希望を確認し、結果説明会または電話連絡し郵送するようにし、集団健診を受診した方は自分自身の健診の結果を確認し振り返る機会としていく。 ・集団健診では受診日が限定されるため、指定医療機関での特定健診も継続し実施していく。 ・人間ドックを希望者も多く、受診率の維持には欠かせないため継続して実施していく。 ・特定保健指導では個別支援を希望する人が多いため保健師、管理栄養士等のマンパワーを確保していく必要がある。 ・特定健診結果では糖代謝異常や肥満が多く、糖尿病予防講演会を実施し糖尿病予防を啓発していく。 ・市民ボランティアの協力を得ながら、バランスの良い食事の普及啓発を実施していく。 ・成人歯科健診の対象を見直し、76歳、80歳の後期高齢歯科健診を実施し、健診内容も口腔機能等も含むものに変更した。 ・ほっとHOT・中条、にこ楽・胎内、ふれすぽ胎内を活用して、運動推進のための各種教室の実施及び運動継続を目指した市民活動の支援を実施する。 |

② 早期発見・早期治療の体制強化

| 施策の内容 |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・特定健康診査とがん検診の受診率向上に向けて、同時実施の取組を継続するとともに、未受診者対策に取り組みます。 ・がん検診は適正間隔で受診する人が増加し、早期発見・早期治療につながるように啓発していきます。 ・市内企業等と連携して、働き盛りの世代に対する疾病予防の働きかけを拡大します。 |
| これまでの主な取組と実績 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・黒川地区で特定健康診査・胃・大腸がん検診の同時実施継続。 ・H29年度から胃がん検診で41歳～61歳までの5歳刻みの年齢の方に無料クーポン事業を開始したが、胃バリウム検診は減少し、胃カメラ検診が増加した。 ・大腸がん、子宮がん、乳がん検診の無料クーポン事業の継続実施していたが、利用率が減少した。 ・令和元年度から無料クーポン事業を子宮がん検診21歳のみ、乳がん検診、大腸がん、胃がん検診は41歳のみに変更したが、大幅な減少は無かった。 ・各種検（健）診未受診者への受診勧奨として、市報掲載。 ・各種検（健）診未受診者に再通知及び特定健診の未受診者には訪問を実施。 ・中小企業健康診断実施時に高血圧予防をテーマに減塩の栄養展示や血管年齢測定、禁煙や運動のすすめ、こころの健康相談会の紹介などを実施。 |
| 主な課題と今後の対応 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・特定健診・がん検診の受診率及び無料クーポンを使ってがん検診を受診する人は減少傾向にある。無料クーポンの時だけ受診する人もいるため、適正な受診間隔でがん検診を受診する人が減り、早期発見につながらない恐れがある。そのため、令和元年度から無料クーポン事業はがん検診の対象となる初年度のみに変更した。受診勧奨として市報掲載を継続する。各種検（健）診未受診者に再通知及び特定健診未受診者には訪問を実施していく。 ・精密検査の対象となった方が受診し早期発見につながるよう受診勧奨していく。 ・中小企業健康診断時にテーマを決め、自分の健康を振り返る機会にしてもらうようにする。自殺予防対策としてこころの健康相談の紹介を実施していく。 ・令和3年度から胃カメラ検診は国・県の方針と同様に2年に1回偶数年齢のみに変更していく予定。 ・集団検（健）診では3密を避け、消毒をしっかり行い、コロナ対策を実施していく。 |

③ 元気・ふれあい・生きがいの推進

| 施策の内容 | |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・市民協働による健康づくり活動の拠点であるほっとHOT・中条とにこ楽・胎内を中心に、元気ふれあい広め隊の育成と元気づくりプログラム等の充実を図ります。 ・地域包括支援センター（介護予防・日常生活支援総合事業等）や生涯学習、生涯スポーツの各分野と連携して、市民による地域でのサロン活動、サークル活動等を促進します。 ・ストレス等によるうつ状態や精神的不調の改善および自殺予防に向けて、相談支援体制の拡充や支援者となる市民を対象にした研修等の開催に取り組みます。 | |
| これまでの主な取組と実績 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ほっとHOT・中条、にこ楽・胎内を拠点に、14の元気づくりプログラムの活動やイベントを元気ふれあい広め隊と協働で実施。 ・元気ふれあい広め隊の研修会及び養成講座を実施。 ・福祉介護課地域包括支援センター係とともに「住民主体の通いの場」の立上げや継続支援および地域における介護予防教室、健康相談会を実施し、地域でのサロン活動等の支援を行った。 ・こころの健康づくり講演会、自殺予防のための支援者研修会、こころの健康相談会を実施。 | |
| 主な課題と今後の対応 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ほっとHOT・中条、にこ楽・胎内を拠点に活動している元気づくりプログラムやイベントは振り返りを行い、健康づくりの目的を共有して、元気ふれあい広め隊と協働で実施していく。 ・元気ふれあい広め隊の意識づくりや活動の活性化を目的に新規の加入のための養成講座や研修会を継続していく。 ・地域のリーダー育成などを行いながら、地域住民主体の活動等の支援を継続していく。 ・運動習慣を身につけたい方に気軽に参加できる運動に関する元気づくりプログラムを紹介していく。 ・自殺予防対策計画に基づいて、こころの健康づくり講演会、自殺予防のための支援者研修会、こころの健康相談会、総合相談等を実施していく。 ・コロナ対策として新しい生活様式を踏まえた3密を避けた市民協働の元気づくりプログラムの実施方法を検討していく。 ・医療介護保健の一体化を図った地域での介護予防教室、健康教育、健康相談の実施を検討していく。 | |

5 施策の今後の方針

| 施策方針 | ○ 維持 |
|------------|---|
| 施策方針に関する説明 | <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度から胃カメラ検診は国・県の方針と同様に2年に1回偶数年齢のみに変更していく。 ・集団検（健）診では3密を避け、消毒をしっかり行い、コロナ対策を実施していく。 ・コロナ対策として新しい生活様式を踏まえた3密を避けた市民協働の元気づくりプログラムの実施方法を検討していく。 ・人生100年時代を見据え、これまでの生活習慣病対策・フレイル対策としての保健事業と介護予防が医療保険と介護保険の制度ごとに実施されていたものを一体化実施することが求められているため、従来の既存事業を結び付け、交付金の対象となるように実施を検討していく。 |

Ⅱ 施策を構成する事業等

| 事業 コード | 事務事業名 | R1 | | R2 | | 達成度 | 施策目標 に対する 貢献 | 一次評価 今後の 方向性 | 二次評価 今後の 方向性 | 主な事業 | 担当課 |
|-----------|-------------------------|--------|------------|---------|------------|-----|--------------------|--------------------|--------------------|------|--------|
| | | 事業費 | うち 一般財源 | 当初予算額 | うち 一般財源 | | | | | | |
| 210110 | う蝕予防事業 | 3,342 | 2,553 | 4,067 | 3,159 | △ | ○ | ③ | ③ | | 健康づくり課 |
| 210111 | 健康教育・健康相談事業 | 964 | 691 | 987 | 744 | ○ | ○ | ③ | ③ | | 健康づくり課 |
| 210112 | 訪問指導事業 | 463 | 454 | 726 | 717 | ○ | ○ | ③ | ③ | | 健康づくり課 |
| 210113 | 特定保健指導事業 | 625 | 0 | 1,009 | 0 | ○ | ○ | ③ | ③ | | 健康づくり課 |
| 210114 | 国民健康保険保健指導事業 | 3,175 | 0 | 3,362 | 0 | ◎ | ○ | ③ | ③ | | 健康づくり課 |
| 210121 | 食生活改善推進事業〔国民健康保険事業特別会計〕 | 47 | 47 | 62 | 62 | ◎ | ○ | ③ | ③ | | 健康づくり課 |
| 210221 | 特定健康診査事業 | 20,519 | 2,824 | 24,449 | 5,341 | △ | ○ | ⑤ | ③ | | 健康づくり課 |
| 210222 | 各種がん検診等健康診査事業 | 29,710 | 29,224 | 34,127 | 33,661 | ○ | ○ | ③ | ③ | | 健康づくり課 |
| 210220 | 結核対策・予防接種事業 | 73,428 | 71,044 | 84,661 | 83,105 | ○ | ○ | ③ | ③ | ○ | 健康づくり課 |
| 210310 | ほっとHOT中条管理事業 | 14,840 | 11,388 | 157,981 | 19,589 | ○ | ○ | ③ | ③ | ○ | 健康づくり課 |
| 210311 | 国民健康づくり地方推進事業 | 2,026 | 1,647 | 2,125 | 1,803 | △ | ○ | ③ | ③ | | 健康づくり課 |
| 210312 | にこ楽・胎内運営事業 | 5,506 | 5,318 | 6,214 | 6,046 | ○ | ○ | ③ | ③ | | 健康づくり課 |

事務事業評価シート（評価対象年度：令和元年度事業）

| | | | | | | | | |
|-------|-----------|-------|-------|--------|----------------------|---|----------|--------------------|
| 事業コード | 210110 | | 担当課 | 健康づくり課 | 担当係 | 子育て応援係 | | |
| 事務事業名 | う蝕予防事業 | | 事業年度 | 令和元年度 | | 会計区分 | 一般会計 | |
| 基本政策 | 2 | 健康・福祉 | 事業コード | 大 21 | 健康づくり | 款 | 04 衛生費 | |
| 施策 | 7 | 健康づくり | | 中 01 | ライフステージに合わせた健康づくりの推進 | 項 | 01 保健衛生費 | |
| | | | | 小 10 | う蝕予防事業 | 目 | 02 母子衛生費 | |
| 事務区分 | 法定受託事務 | | 自治事務 | ○ | 根拠法令 | 母子保健法（1歳6か月児健診、3歳児健診）、健康増進法、歯科口腔保健の推進に関する法律 | | |
| | 法令による義務付け | | 義務＋任意 | | 関連条例 | 胎内市歯科保健推進事業実施要綱 | 関連計画 | 健康たいない21、胎内市歯科保健計画 |

1 事業の取組状況

| | |
|----------|--|
| 事業の目的・概要 | 乳幼児、園児、小中学生のむし歯予防の推進を図る。 |
| 主な実施内容 | <ul style="list-style-type: none"> ○乳幼児に対する定期的な歯科健診とフッ化物塗布の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・1歳、1歳6か月児、2歳、3歳児はほっとHOT・中条にて集団で実施 ・2歳6か月、3歳6か月児は歯科医院への委託により実施 ○フッ化物洗口 <ul style="list-style-type: none"> ・市内の園、小中学校で実施 ○むし歯・歯肉炎予防教室 <ul style="list-style-type: none"> 胎内市歯科保健指導マニュアルに基づき市内の園、小中学校で実施 ○ピカもぐ劇団による寸劇の実施（むし歯・歯肉炎予防教室で上演） |
| 実施方法 | 市が直接実施＋委託 |

2 事業費の状況（※平成29年度～令和元年度は決算額、令和2年度は当初予算額）

| | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 |
|------------|--|--------|-------|-------|-------|
| 総事業費（千円） | 3,429 | 3,458 | 3,342 | 4,067 | |
| 国・県支出金 | 374 | 388 | 341 | 348 | |
| 地方債 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| その他 | 491 | 496 | 448 | 560 | |
| 一般財源 | 2,564 | 2,574 | 2,553 | 3,159 | |
| 人件費（千円） | 3,427 | 3,456 | 3,742 | | |
| 正(h) ※事業費 | 1,800 | 1,800 | 1,879 | | |
| 臨時(h) ※事業費 | 136 | 136 | 204 | | |
| 総事業費＋人件費 | 6,856 | 6,914 | 7,084 | | |
| 財源「その他」内訳 | フッ化物塗布個人負担金 448千円 | | | | |
| 事業費の主な支出内容 | 幼児歯科健診医師等報酬 1768千円 消耗品 980千円 歯科健診フッ化物塗布委託料 378千円 | | | | |

3 指標値の状況

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 |
|------|-----|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|
| 産出指標 | 名称 | 歯科健診実施回数 | 歯科健診実施回数 | 歯科健診実施回数 | 歯科健診実施回数 | 歯科健診実施回数 |
| | 目標 | 36回 | 36回 | 36回 | 33回 | 33回 |
| | 実績 | 36回 | 36回 | 36回 | | |
| 成果指標 | 名称 | 12歳児一人平均むし歯数 | 12歳児一人平均むし歯数 | 12歳児一人平均むし歯数 | 12歳児一人平均むし歯数 | 12歳児一人平均むし歯数 |
| | 目標 | 0.4本 | 0.4本 | 0.4本 | 0.4本 | 0.4本 |
| | 実績 | 0.43本 | 0.4本 | 0.46本 | | |
| | 目標比 | - | - | - | | |

4 達成度

| 達成度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 |
|-----------------------------------|--|--------|-------|-------|-------|
| 達成度 | ○ | ◎ | △ | | |
| ◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない | | | | | |
| 達成度の判定理由 | 12歳児1人平均むし歯数は県が掲げている数値目標を市の目標にしている。目標値0.4を達成している年度もあるが、その年によりばらつきが大きいため、令和元年度は△やや達成していないとする。 | | | | |

5 事業の点検項目

| | | |
|----------------------|--|---|
| 事業が市民の需要（ニーズ）に合っているか | ○：需要がある △：一部需要がある ▲：需要が低下している ×：あまり需要が無い | ○ |
| | 施策の目標に対してこの事業が貢献しているか | ○ |
| | 類似した事業が実施されていないか | ○ |
| | ○：類似事業がない ×：類似事業がある | |
| 住民等の参画、協働は可能か | ○：検討可能 △：一部検討可能 ×：不可能 実施：実施済 一部実施：一部実施済 | 実施 |
| | 民間への外部化（業務委託・指定管理者制度等）は可能か | 一部実施 |
| | ○：検討可能 △：一部検討可能 ×：不可能 実施：実施済 一部実施：一部実施済 | |
| 協働または民間への外部化が不可能な理由 | 一部の歯科健診、フッ化物塗布を医療機関委託しているが、発注確認の機会となっているため、市で集団健診を行う必要もある。 | |
| | 事業実施のプロセスや手続きに改善が必要か | △ |
| 事業費や人件費に削減の余地はないか | ○：改善の必要なし △：一部改善が必要 ×：改善が必要 | |
| | ○：削減の余地なし △：一部削減の余地あり ×：削減の余地あり | ○ |
| | 受益者負担は事業コストに対して適正か | ○ |
| 効率性 | ○：適正である △：検討・見直しが必要 -：該当しない | |
| | 単位コスト | 算出方法 集団健診に係る費用（従事者報酬＋消耗品）/集団（1歳、1歳6か月児、2歳、3歳児）での健診延受診者数 |
| | 実績 | 平成29年度 2,270円 平成30年度 2,460円 令和元年度 2,424円 令和2年度 令和3年度 |

6 改革改善の実施状況（平成29年度～）

平成29年度に新規にきすげ乳児園からきすげこども園に変更し、平成30年度からフッ化物洗口・むし歯予防教室を開始した。平成30年度にまごころ保育園が開設されたため園児の入園状況を確認し、虫歯予防教室やフッ化物洗口の開始を進める準備を行った。令和元年度にはまごころ保育園での保護者を交えたむし歯予防教室及びフッ化物洗口の説明会を実施した。

また、乳児期からのむし歯予防の意識を定着させるため、保育園、小中学校で実施していたむし歯予防教室の対象を子育て支援センターを利用している未入園児の保護者にも拡大した。

7 事業の方向性（案）

| | |
|-------------|--|
| 今後の方向性 | ③ |
| 課題及び今後の対応方法 | <ul style="list-style-type: none"> ・フッ化物塗布、フッ化物洗口の効果もあり、全体的にはむし歯有病率は低いものの県平均に比べ高い割合である。個別にみると幼いうちにむし歯ができてくる子や一人で何本もむし歯がある子がおり、口腔内の衛生状況に格差が生じている。 ・虫歯の有病率の低下のために、幼児健診と医療機関委託で歯科健診・フッ化物塗布を半年に1回の割合で受けられる様にしているが、医療機関委託での歯科健診・フッ化物塗布受診率は低い状況である。歯科健診・フッ化物塗布を定期的に行うことで、よりむし歯予防の効果が見られるため、今までは健診の場で渡していた受診券を受診時期に手元に届くよう配布方法を見直し、医療機関の受診につなげたいと思う。 ・幼児健診時だけでなく、園や学校、医療機関と連携し継続的に効果的な歯科健診、指導等を行っていく必要がある。 |

8 二次評価

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----------|--|----|---|---|---|----|---|---|---|----|---|---|---|-----|---|---|---|----|---|---|---|----|---|---|---|----|---|---|---|
| 今後の方向性 | ③ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 所見 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 今後の方向性 | <table border="1"> <tr> <td>拡充</td> <td>④</td> <td>②</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>⑤</td> <td>③</td> <td>④</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>⑥</td> <td>④</td> <td>⑤</td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td>⑦</td> <td>⑤</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>⑧</td> <td>⑥</td> <td>⑦</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>⑨</td> <td>⑦</td> <td>⑧</td> </tr> <tr> <td>拡大</td> <td>⑩</td> <td>⑧</td> <td>⑨</td> </tr> </table> | 拡充 | ④ | ② | ① | 維持 | ⑤ | ③ | ④ | 縮小 | ⑥ | ④ | ⑤ | 休廃止 | ⑦ | ⑤ | ⑥ | 削減 | ⑧ | ⑥ | ⑦ | 維持 | ⑨ | ⑦ | ⑧ | 拡大 | ⑩ | ⑧ | ⑨ |
| 拡充 | ④ | ② | ① | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 維持 | ⑤ | ③ | ④ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 縮小 | ⑥ | ④ | ⑤ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 休廃止 | ⑦ | ⑤ | ⑥ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 削減 | ⑧ | ⑥ | ⑦ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 維持 | ⑨ | ⑦ | ⑧ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 拡大 | ⑩ | ⑧ | ⑨ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| コスト投入の方向性 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

事務事業評価シート（評価対象年度：令和元年度事業）

| | | | | | | | | |
|-------|-------------|-------|-------|--------|----------------------|-------|------|----------|
| 事業コード | 210111 | | 担当課 | 健康づくり課 | 担当係 | 元気応援係 | | |
| 事務事業名 | 健康教育・健康相談事業 | | 事業年度 | 令和元年度 | | 会計区分 | 一般会計 | |
| 基本政策 | 2 | 健康・福祉 | 事業コード | 大 21 | 健康づくり | 予算科目 | 款 04 | 衛生費 |
| 施策 | 7 | 健康づくり | | 中 01 | ライフステージに合わせた健康づくりの推進 | | 項 01 | 保健衛生費 |
| | | | | 小 11 | 健康教育・健康相談事業 | | 目 03 | 健康増進費 |
| 事務区分 | 法定受託事務 | | 自治事務 | ○ | 根拠法令 | 健康増進法 | | |
| | 法令による義務付け | | 努力義務 | | 関連条例 | | 関連計画 | 健康たいない21 |

1 事業の取組状況

| | |
|----------|---|
| 事業の目的・概要 | 生活習慣病予防について関心、意欲が高まり、生活に取り入れることができるように健康教育及び健康相談を集団又は個別による手法で実施する。集団での手法では参加者同士のふれあいやつながりが深まることも目的とする。 |
| 主な実施内容 | <ul style="list-style-type: none"> 各種健康教育・健康相談 保健師が、「熱中症予防」「生活習慣病予防」「感染症予防」など時期や地区、対象者のニーズに合った内容を取り入れ健康講話を実施。その他、グループワークやレクリエーション、体操等を集団指導と個別指導を組み合わせて実施。 保健食講習会：地域住民を対象に栄養講話と調理実習を実施。 |
| 実施方法 | 市が直接実施＋補助・負担 |

2 事業費の状況（※平成29年度～令和元年度は決算額、令和2年度は当初予算額）

| | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 |
|--------------|---------------|--------|-------|-------|-------|
| 総事業費（千円） | 1,779 | 1,418 | 964 | 987 | |
| 国・県支出金 | 540 | 305 | 273 | 243 | |
| 地方債 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| その他 | 15 | 0 | 0 | 0 | |
| 一般財源 | 1,224 | 1,113 | 691 | 744 | |
| 人件費（千円） | 786 | 1,084 | 834 | | |
| 正(h) ※事業費 | 427 | 584 | 439 | | |
| 臨時(h) ※事業費 ○ | 0 | 0 | 0 | | |
| 総事業費＋人件費 | 2,565 | 2,502 | 1,798 | | |
| 財源「その他」内訳 | 自動車リース料 299千円 | | | | |
| 事業費の主な支出内容 | | | | | |

3 指標値の状況

| | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 |
|------|--------|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|
| 産出指標 | 名称 | 地区で健康教育・健康相談を実施した回数 | 地区で健康教育・健康相談を実施した回数 | 地区で健康教育・健康相談を実施した回数 | 地区で健康教育・健康相談を実施した回数 |
| | 目標 | 150回 | 150回 | 150回 | 150回 |
| | 実績 | 158回 | 139回 | 112回 | |
| 成果指標 | 名称 | 地区での健康教育・健康相談延べ参加者数 | 地区での健康教育・健康相談延べ参加者数 | 地区での健康教育・健康相談延べ参加者数 | 地区での健康教育・健康相談延べ参加者数 |
| | 目標 | 1,500人 | 1,500人 | 1,500人 | 1,500人 |
| | 実績 | 1,790人 | 1,667人 | 1,374人 | |
| | 目標比 | 119.3% | 111.1% | 91.6% | |

4 達成度

| 達成度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 |
|-----------------------------------|--|--------|-------|-------|-------|
| 達成度 | ◎ | ◎ | ○ | | |
| ◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない | | | | | |
| 達成度の判定理由 | 地区で健康教育・健康相談を実施した回数、地区での健康教育・健康相談延べ参加者数ともに、達成できていないが、毎回の平均参加人数は前年より増加している。 | | | | |

5 事業の点検項目

| | | | | | |
|-----------------------------|--|-----------------------------|-------|-------|-------|
| 妥当性 | 事業が市民の需要（ニーズ）に合っているか | ○ | | | |
| | ○：需要がある △：一部需要がある ▲：需要が低下している ×：あまり需要が無い | | | | |
| | 施策の目標に対してこの事業が貢献しているか | ○ | | | |
| | ○：貢献している △：一部貢献している ×：あまり貢献していない | | | | |
| 実施 | 類似した事業が実施されていないか | × | | | |
| | ○：類似事業がない ×：類似事業がある | | | | |
| | 住民等の参画、協働は可能か | 実施 | | | |
| | ○：検討可能 △：一部検討可能 ×：不可能 実施：実施済 一部実施：一部実施済 | | | | |
| 効率性 | 民間への外部化（業務委託・指定管理者制度等）は可能か | × | | | |
| | ○：検討可能 △：一部検討可能 ×：不可能 実施：実施済 一部実施：一部実施済 | | | | |
| | 協働または民間への外部化が不可能な理由 | 保健師の地区活動の一環として行うものは委託に適さない。 | | | |
| | 事業実施のプロセスや手続きに改善が必要か | ○ | | | |
| 単位コスト | ○：改善の必要なし △：一部改善が必要 ×：改善が必要 | | | | |
| | 事業費や人件費に削減の余地はないか | ○ | | | |
| | ○：削減の余地なし △：一部削減の余地あり ×：削減の余地あり | | | | |
| | 受益者負担は事業コストに対して適正か | ○ | | | |
| ○：適正である △：検討・見直しが必要 -：該当しない | | | | | |
| 算出方法 | | | | | |
| 実績 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 |

6 改革改善の実施状況（平成29年度～）

令和元年度健康体操教室廃止後からは、体力向上と生活習慣病予防・改善のために運動習慣を身につけたい方は、屋内の運動施設や、屋外でウォーキング等の運動をする元気づくりプログラム「HOTふれあい健康会」を紹介している。

7 事業の方向性（案）

| | |
|------------|---|
| 今後の方向性 | ③ |
| 課題及び改善後の対応 | <ul style="list-style-type: none"> 当事業は保健師が担当地区の保健活動を進めるうえで、地域住民とのつながりを作り生活習慣や地域の特性・健康課題などを把握したり、心身の健康に関する相談に応じ指導する貴重な機会となっている。また、その手段として健康教育・健康相談事業は個別訪問と比べて効率的かつ有効である。 当事業で得た地域の特性・健康課題などは当事者だけでなく、その地域に住む子どもから成人期・高齢期の健康維持を支援するうえで必要な情報資源にもなっている。 2024年度までに国から高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施が求められている。今後、この一体化を進める中で、地区での健康教育・健康相談の機会が高齢者の社会参加の場にもなる。市民の健康寿命の延伸のためにも継続して実施することが必要である。後期高齢者広域連合から交付金対象となるような事業実施の組立てを、市民生活課ほけん年金係、福祉介護課地域包括支援センターと検討していく。 |

8 二次評価

| | | | | |
|-----------|-----|----|----|----|
| 今後の方向性 | ③ | | | |
| 所見 | | | | |
| 今後の方向性 | | | | |
| 成果の方向性 | 拡充 | ④ | ② | ① |
| | 維持 | ⑤ | ③ | ④ |
| | 縮小 | ⑥ | ④ | ⑤ |
| | 休廃止 | ⑦ | ⑤ | ⑥ |
| | | 削減 | 縮小 | 維持 |
| コスト投入の方向性 | | | | |

事務事業評価シート（評価対象年度：令和元年度事業）

| | | | | | | | | | | |
|-------|-----------|-------|-------|--------|-------|----------------------|------|------|-------------|-------|
| 事業コード | 210112 | | 担当課 | 健康づくり課 | 担当係 | 元気応援係 | | | | |
| 事務事業名 | 訪問指導事業 | | 事業年度 | 令和元年度 | | 会計区分 | 一般会計 | | | |
| 基本政策 | 2 | 健康・福祉 | 事業コード | 大 | 21 | 健康づくり | 予算科目 | 款 | 04 | 衛生費 |
| 施策 | 7 | 健康づくり | | 中 | 01 | ライフステージに合わせた健康づくりの推進 | | 項 | 01 | 保健衛生費 |
| | | | | 小 | 12 | 訪問指導事業 | | 目 | 03 | 健康増進費 |
| 事務区分 | 法定受託事務 | ○ | 自治事務 | 根拠法令 | 健康増進法 | | | 関連計画 | 第2次健康たいない21 | |
| | 法令による義務付け | | 努力義務 | 関連条例 | | | | | | |

1 事業の取組状況

| | |
|----------|---|
| 事業の目的・概要 | 保健指導の必要な人・世帯に対して家庭訪問を実施し、指導・助言・関係機関との連絡調整等、適した支援を実施する。 |
| 主な実施内容 | 精神障がい者、がん検診の精密検査対象者、難病患者、母子を対象に家庭訪問実施し、指導・助言・関係機関との連絡調整等、適した支援を実施し、家族だけでなく、関係機関との連携を通して地域全体への支援も検討している。 |
| 実施方法 | 市が直接実施 |

2 事業費の状況（※平成29年度～令和元年度は決算額、令和2年度は当初予算額）

| | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 |
|------------|----------------------------------|--------|-------|-------|-------|
| 総事業費（千円） | 498 | 618 | 463 | 726 | |
| 国・県支出金 | 28 | 12 | 9 | 9 | |
| 地方債 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| その他 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 一般財源 | 470 | 606 | 454 | 717 | |
| 人件費（千円） | 1,740 | 1,755 | 1,794 | | |
| 正(h) ※事業費 | 900 | 900 | 900 | | |
| 臨時(h) ※事業費 | 100 | 100 | 100 | | |
| 総事業費+人件費 | 2,238 | 2,373 | 2,257 | | |
| 財源「その他」内訳 | 需用費（消耗品、燃料費、修繕費）197千円、車の賃借料163千円 | | | | |
| 事業費の主な支出内容 | | | | | |

3 指標値の状況

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 |
|------|-----|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|
| 産出指標 | 名称 | 家庭訪問実人数 | 家庭訪問実人数 | 家庭訪問実人数 | 家庭訪問実人数 | 家庭訪問実人数 |
| | 目標 | 700人 | 700人 | 700人 | 700人 | 700人 |
| | 実績 | 747人 | 728人 | 765人 | | |
| 成果指標 | 名称 | 家庭訪問実施率（訪問実人数/訪問対象者数） | 家庭訪問実施率（訪問実人数/訪問対象者数） | 家庭訪問実施率（訪問実人数/訪問対象者数） | 家庭訪問実施率（訪問実人数/訪問対象者数） | 家庭訪問実施率（訪問実人数/訪問対象者数） |
| | 目標 | 85% | 85% | 85% | 85% | 85% |
| | 実績 | 72.00% | 68.20% | 69.50% | | |
| | 目標比 | 84.7% | 80.2% | 81.8% | | |

4 達成度

| 達成度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 |
|-----------------------------------|-----------------------------------|--------|-------|-------|-------|
| 達成度 | ○ | ○ | ○ | | |
| ◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない | | | | | |
| 達成度の判定理由 | 家庭訪問実人数は目標を達成したが、家庭訪問実施率は目標を下回った。 | | | | |

5 事業の点検項目

| | | | | | | |
|-----|--|------------|--------|--------|-------|-------|
| 妥当性 | 事業が市民の需要（ニーズ）に合っているか ○：需要がある △：一部需要がある ▲：需要が低下している ×：あまり需要が無い | ○ | | | | |
| | 施策の目標に対してこの事業が貢献しているか ○：貢献している △：一部貢献している ×：あまり貢献していない | ○ | | | | |
| | 類似した事業が実施されていないか ○：類似事業がない ×：類似事業がある | ○ | | | | |
| | 住民等の参画、協働は可能か ○：検討可能 △：一部検討可能 ×：不可能 実施：実施済 一部実施：一部実施済 | × | | | | |
| | 民間への外部化（業務委託・指定管理者制度等）は可能か ○：検討可能 △：一部検討可能 ×：不可能 実施：実施済 一部実施：一部実施済 | × | | | | |
| | 協働または民間への外部化が不可能な理由 地区担当保健師が、対象者個人だけでなく家族全体や地域も見ているので、地域でのつながりや個人情報を考えると、協働や外部委託は難しい。 | | | | | |
| 効率性 | 事業実施のプロセスや手続きに改善が必要か ○：改善の必要なし △：一部改善が必要 ×：改善が必要 | ○ | | | | |
| | 事業費や人件費に削減の余地はないか ○：削減の余地なし △：一部削減の余地あり ×：削減の余地あり | ○ | | | | |
| | 受益者負担は事業コストに対して適正か ○：適正である △：検討・見直しが必要 -：該当しない | ○ | | | | |
| | 単位コスト | 算出方法 実績 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 |

6 改革改善の実施状況（平成29年度～）

個々のケースに応じて、関係機関〔福祉介護課の地域包括支援センター係・援護係・障がい福祉係、社会福祉協議会、地域生活支援センターごっちゃ、deed等障がい者相談支援事業所〕と連携しながら、訪問活動を行った。

7 事業の方向性（案）

| | |
|-----------|---|
| 今後の方向性 | ③ |
| 課題及び今後の対応 | 数字での評価が難しい事業であるが、個々のケースが抱える問題が多様化しており、他機関と連携しながら今後ますます必要となってくる事業である。家庭訪問による保健指導は、対象者個人だけでなく家族全体や地域もみており、幅広い年代の健康管理につながっている大切な事業である。 |

8 二次評価

| | | | | |
|-----------|-----|----|----|----|
| 今後の方向性 | ③ | | | |
| 所見 | | | | |
| 成果の方向性 | 拡充 | ④ | ② | ① |
| | 維持 | ⑤ | ③ | |
| | 縮小 | ⑥ | | |
| | 休廃止 | ⑦ | | |
| | 削減 | 縮小 | 維持 | 拡大 |
| コスト投入の方向性 | | | | |

事務事業評価シート（評価対象年度：令和元年度事業）

| | | | | | | | | | | |
|-------|-----------|-------|-------|--------|-----------------|----------------------|-------|---|----|-------|
| 事業コード | 210113 | | 担当課 | 健康づくり課 | 担当係 | 元気応援係 | | | | |
| 事務事業名 | 特定保健指導事業 | | | 事業年度 | 令和元年度 | | 会計区分 | 一般会計 | | |
| 基本政策 | 2 | 健康・福祉 | 事業コード | 大 | 21 | 健康づくり | 予算科目 | 款 | 04 | 衛生費 |
| 施策 | 7 | 健康づくり | | 中 | 01 | ライフステージに合わせた健康づくりの推進 | | 項 | 01 | 保健衛生費 |
| | | | | 小 | 13 | 特定保健指導事業 | | 目 | 03 | 健康増進費 |
| 事務区分 | 法定受託事務 | | ○ | 根拠法令 | 高齢者の医療確保に関する法律、 | | 健康増進法 | | | |
| | 法令による義務付け | | | 関連条例 | | | 関連計画 | 第2次総合胎内市総合計画、第2次健康たいない21胎内市国民健康保険第3期特定健康診査実施計画・ | | |

1 事業の取組状況

| | |
|----------|--|
| 事業の目的・概要 | 生活習慣病の予防のため、特定健康診査の結果から、内臓脂肪症候群（メタボリックシンドローム）およびその予備軍に該当した人に対して、日常生活の行動変容を目指した特定保健指導を実施する。 |
| 主な実施内容 | 特定健康診査受診者のうち、肥満・高血圧・脂質・血糖の検診結果と問診結果から、「積極的支援」「動機づけ支援」「情報提供」の3つの区分に階層化し、「積極的支援」「動機づけ支援」の該当者に保健師、管理栄養士等が生活習慣の改善に向け、個別支援及び集団支援（栄養講座/運動講座：年各3コース、1コース1回）で保健指導を実施し、3～6か月後に評価する。 |
| 実施方法 | 市が直接実施＋委託 |

2 事業費の状況（※平成29年度～令和元年度は決算額、令和2年度は当初予算額）

| | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 |
|------------|---|--------|-------|-------|-------|
| 総事業費（千円） | 725 | 690 | 625 | 1,009 | |
| 国・県支出金 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 地方債 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| その他 | 725 | 690 | 625 | 1,009 | |
| 一般財源 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 人件費（千円） | 1,009 | 1,019 | 1,171 | | |
| 正(h) ※事業費 | 233 | 240 | 504 | | |
| 臨時(h) ※事業費 | 695 | 675 | 252 | | |
| 総事業費＋人件費 | 1,734 | 1,709 | 1,796 | | |
| 財源「その他」内訳 | 特定健康診査等受託料（国保分） 625千円 | | | | |
| 事業費の主な支出内容 | 需要費 235千円 報酬 192千円 委託料 55千円 報償費 72千円 | | | | |

3 指標値の状況

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 |
|------|-----|--------------------|--------------------|-----------|-----------|-----------|
| 産出指標 | 名称 | 特定保健指導実施率 | 特定保健指導実施率 | 特定保健指導実施率 | 特定保健指導実施率 | 特定保健指導実施率 |
| | 目標 | 48% | 50% | 52% | 54% | 56% |
| | 実績 | 57.2% (県 38.5%) | 59.6% (県 43.0%) | | | |
| 成果指標 | 名称 | 特定保健指導出現率 | 特定保健指導出現率 | 特定保健指導出現率 | 特定保健指導出現率 | 特定保健指導出現率 |
| | 目標 | 12.4% | 12.1% | 11.7% | 11.3% | 11.0% |
| | 実績 | 12.8% (県 10.9%) | 12.4% (県 10.5%) | 12.3% | | |
| | 目標比 | - | - | | | |
| | | | | | | |

4 達成度

| 達成度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 |
|-----------------------------------|--|--------|-------|-------|-------|
| | ○ | ○ | ○ | | |
| ◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない | | | | | |
| 達成度の判定理由 | 特定保健指導の実施率については、平成29年度以降、目標値を達成できている。出現率については、平成29年度以降減少はしてきているものの、目標値は達成できていない。令和元年度については確定値がまだ出ておらず、達成度の評価はできない。 | | | | |

5 事業の点検項目

| | | | | | | |
|-------|--|--|---|---|--|--|
| 妥当性 | 事業が市民の需要（ニーズ）に合っているか | △ | | | | |
| | ○：需要がある △：一部需要がある ▲：需要が低下している ×：あまり需要が無い | | | | | |
| | 施策の目標に対してこの事業が貢献しているか | ○ | | | | |
| | ○：貢献している △：一部貢献している ×：あまり貢献していない | | | | | |
| 効率性 | 類似した事業が実施されていないか | ○ | | | | |
| | ○：類似事業がない ×：類似事業がある | | | | | |
| | 住民等の参画、協働は可能か | × | | | | |
| | ○：検討可能 △：一部検討可能 ×：不可能 実施：実施済 一部実施：一部実施済 | | | | | |
| 単位コスト | 民間への外部化（業務委託・指定管理者制度等）は可能か | 実施 | | | | |
| | ○：検討可能 △：一部検討可能 ×：不可能 実施：実施済 一部実施：一部実施済 | | | | | |
| | 協働または民間への外部化が不可能な理由 | 保険者が実施しなければならない事業で、専門的な内容であり、協働には適さない。受診者数の多い人間ドック健診機関（1か所）に委託はしているが、全人間ドック健診機関への委託は財政的負担が大きくなる。 | | | | |
| | 事業実施のプロセスや手続きに改善が必要か | △ | | | | |
| 単位コスト | ○：改善の必要なし △：一部改善が必要 ×：改善が必要 | | | | | |
| | 事業費や人件費に削減の余地はないか | ○ | | | | |
| | ○：削減の余地なし △：一部削減の余地あり ×：削減の余地あり | | | | | |
| | 受益者負担は事業コストに対して適正か | ○ | | | | |
| 単位コスト | ○：適正である △：検討・見直しが必要 -：該当しない | | | | | |
| | 算出方法 | | | | | |
| 単位コスト | 実績 | | | | | |
| | | 平成29年度 平成30年度 令和元年度 令和2年度 令和3年度 | | | | |
| | | - | - | - | | |

6 改革改善の実施状況（平成29年度～）

- ・特定健康診査結果説明会時に初回面接の実施を継続しており、9割近くの方には初回面接ができています。
- ・特定保健指導実施率の向上のため、H29年度より国保人間ドック健診機関（1か所）に人間ドック受診者の特定保健指導動機づけ支援を委託している。平成30年度の実施者数は13人だったが、令和元年度は5人と減少している。委託先の健診機関に減少要因を確認したところ、一度実施した方は翌年勧奨しても断る場合が多いことがあげられている。
- ・今年度の集団支援は年3回コース、運動講座と栄養講座の2本立てとし、参加者のニーズに合わせ選択できるように内容の充実を図った。また、集団支援と個別支援と組み合わせながら実施することで、実施率の向上に努めた。栄養講座は普段の食生活を振り返り、適量摂取が体験できるバイキング方式として、運動講座は筋力アップだけでなく、より痩せやすくするしなやかな身体づくりのできる運動実技を中心として実施した。参加者からは「実際の食事が体験できよかった」、「身体を動かすことで、身体が軽くなった」という声があり、講話のみでなく実践もあることで、より参加者に理解できる内容になったと思われる。

7 事業の方向性（案）

| | |
|------------|---|
| 今後の方向性 | ③ |
| 課題及び改善後の対応 | <ul style="list-style-type: none"> ・支援期間が3か月と短くなったことで、対象者に評価の連絡をしても覚えていない方が増え、評価がしやすくなった反面、毎年のように特定保健指導の対象者となる方は、保健指導自体を希望しない方も多いため、特に積極的支援については、支援回数も多いため連絡がなかなかとれなくなることもあり、継続支援が難しく評価まで時間のかかる方もいる。 ・集団支援（講座）については年3コース（春・秋・冬）、1コース1回の講座として開催し、運動指導と栄養指導の選択制（1方も可、両方参加も可）として今年度は実施したが、参加者が少ない現状にあり、開催時期や内容等について再度検討を重ねる必要がある。より生活習慣の改善につながるよう個別支援や集団支援の充実を図っていくとともに、実施率の維持・向上を図っていきたい。 ・H29年度から国保人間ドック受診者で動機づけ支援対象者については健診機関と委託契約を行っているが、実施率が減少していることから、健診機関や関係課で連携を強化しながら、実施率の向上を図っていく必要がある。 ・適切な生活習慣を市民全体に普及させるためのポピュレーションアプローチを実践し、特定保健指導対象者出現率の減少を図っていくとともに、個別支援を充実させるため、保健指導を実施できるマンパワーの確保にも取り組んでいく必要がある。 |

8 二次評価

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------|---|----|----|---|---|----|---|---|---|----|---|---|---|-----|---|---|---|--|----|----|----|
| 今後の方向性 | ③ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 所見 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 成果の方向性 | <table border="1"> <tr> <td>拡充</td> <td>④</td> <td>②</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>⑤</td> <td>③</td> <td>④</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>⑥</td> <td>④</td> <td>⑤</td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td>⑦</td> <td>⑤</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>拡大</td> </tr> </table> | 拡充 | ④ | ② | ① | 維持 | ⑤ | ③ | ④ | 縮小 | ⑥ | ④ | ⑤ | 休廃止 | ⑦ | ⑤ | ⑥ | | 削減 | 維持 | 拡大 |
| 拡充 | ④ | ② | ① | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 維持 | ⑤ | ③ | ④ | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 縮小 | ⑥ | ④ | ⑤ | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 休廃止 | ⑦ | ⑤ | ⑥ | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 削減 | 維持 | 拡大 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | コスト投入の方向性 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

事務事業評価シート（評価対象年度：令和元年度事業）

| | | | | | | | | | | |
|-------|--------------|-------|-------|--------|----------------|----------------------|------|------|---|-------|
| 事業コード | 210114 | | 担当課 | 健康づくり課 | 担当係 | 元気応援係 | | | | |
| 事務事業名 | 国民健康保険保健指導事業 | | | 事業年度 | 令和元年度 | | 会計区分 | 一般会計 | | |
| 基本政策 | 2 | 健康・福祉 | 事業コード | 大 | 21 | 健康づくり | 予算科目 | 款 | 04 | 衛生費 |
| 施策 | 7 | 健康づくり | | 中 | 01 | ライフステージに合わせた健康づくりの推進 | | 項 | 01 | 保健衛生費 |
| | | | | 小 | 14 | 国民健康保険保健指導事業 | | 目 | 03 | 健康増進費 |
| 事務区分 | 法定受託事務 | | ○ | 根拠法令 | 健康増進法、高齢者医療確保法 | | | 関連計画 | 第2次健康増進計画「健康たいない21」 胎内市国民健康保険第2期保健事業実施計画 | |
| | 法令による義務付け | | | 関連条例 | | | | | | |

1 事業の取組状況

| | |
|----------|--|
| 事業の目的・概要 | 生活習慣病の予防のため、特定健診未受診者対策、受診勧奨判定値を超えている者への対策、特定健診継続受診対策及び早期介入保健指導を行う。 |
| 主な実施内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・特定健診未受診者訪問 ・特定健診結果説明会 ・30歳代の特定健診 ・受診勧奨指導 |
| 実施方法 | 市が直接実施＋委託 |

2 事業費の状況（※平成29年度～令和元年度は決算額、令和2年度は当初予算額）

| | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 |
|------------|---|--------|-------|-------|-------|
| 総事業費（千円） | 3,283 | 3,131 | 3,175 | 3,362 | |
| 国・県支出金 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 地方債 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| その他 | 3,283 | 3,131 | 3,175 | 3,362 | |
| 一般財源 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 人件費（千円） | 3,296 | 3,340 | 3,912 | | |
| 正(h) ※事業費 | 1,322 | 1,327 | 1,574 | | |
| 臨時(h) ※事業費 | 1,032 | 1,032 | 1,086 | | |
| 総事業費＋人件費 | 6,579 | 6,471 | 7,087 | | |
| 財源「その他」内訳 | ・特定健康診査等受診料（国保分）：3,176千円 | | | | |
| 事業費の主な支出内容 | ①看護師・保健師・栄養士等報酬：1,566千円 ②健診委託料：209千円 ③印刷製本費：196千円 ④通信運搬費：214千円 ⑤その他：991千円 | | | | |

3 指標値の状況

| | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | |
|------|--------|-----------------------------------|-----------------------------------|-------------------------------|-------------------------------|-------------------------------|
| 産出指標 | 名称 | 特定健診受診率 | 特定健診受診率 | 特定健診受診者の保健指導実施率 | 特定健診受診者の保健指導実施率 | 特定健診受診者の保健指導実施率 |
| | 目標 | ①30歳代国保9%、②40～64歳国保45% | ①30歳代国保9%、②40～64歳国保45% | 90% | 90% | 90% |
| | 実績 | ①13.6% ②45.1% | ①14.2% ②36.3% | 93.5% | | |
| 成果指標 | 名称 | ①特定健診結果説明会参加率 ②受診勧奨判定者の医療機関受診率 | ①特定健診結果説明会参加率 ②受診勧奨判定者の医療機関受診率 | ①要医療判定者の医療機関受診率 ②特定健診継続受診率 | ①要医療判定者の医療機関受診率 ②特定健診継続受診率 | ①要医療判定者の医療機関受診率 ②特定健診継続受診率 |
| | 目標 | ①75% ②50% | ①75% ②50% | ①50% ②40% | ①50% ②40% | ①50% ②40% |
| | 実績 | ①78.6% ②48.5% | ①78.5% ②56.9% | ①53.5% ②81.0% | | |
| | 目標比 | ①104.8% ②97% | ①104.7% ②113.8% | ①107.0% ②202.5% | | |

4 達成度

| 達成度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 |
|-----------------------------------|---|--------|-------|-------|-------|
| 達成度 | ○ | ○ | ◎ | | |
| ◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない | | | | | |
| 達成度の判定理由 | 目標にあげた指標はすべて達成できた。しかし、そのためには、住民サービスの質を落とさないための支援や準備にかかる時間や人材の確保等が必須である。 | | | | |

5 事業の点検項目

| | | | | | |
|---|--|---|-------|-------|-------|
| 妥当性 | 事業が市民の需要（ニーズ）に合っているか | ○ | | | |
| | ○：需要がある △：一部需要がある ▲：需要が低下している ×：あまり需要が無い | | | | |
| | 施策の目標に対してこの事業が貢献しているか | ○ | | | |
| | ○：貢献している △：一部貢献している ×：あまり貢献していない | | | | |
| | 類似した事業が実施されていないか | ○ | | | |
| | ○：類似事業がない ×：類似事業がある | | | | |
| 効率性 | 住民等の参画、協働は可能か | × | | | |
| | ○：検討可能 △：一部検討可能 ×：不可能 実施：実施済 一部実施：一部実施済 | | | | |
| | 民間への外部化（業務委託・指定管理者制度等）は可能か | × | | | |
| ○：検討可能 △：一部検討可能 ×：不可能 実施：実施済 一部実施：一部実施済 | | | | | |
| 単位コスト | 協働または民間への外部化が不可能な理由 | 特定健診からつながりを持った支援や経年的・継続的な支援がなくなる等サービスの質の低下が危惧される。 | | | |
| | 事業実施のプロセスや手続きに改善が必要か | ○ | | | |
| | ○：改善の必要なし △：一部改善が必要 ×：改善が必要 | | | | |
| | 事業費や人件費に削減の余地はないか | ○ | | | |
| ○：削減の余地なし △：一部削減の余地あり ×：削減の余地あり | | | | | |
| 単位コスト | 受益者負担は事業コストに対して適正か | ○ | | | |
| | ○：適正である △：検討・見直しが必要 -：該当しない | | | | |
| 算出方法 | | | | | |
| 実績 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 |
| | | | | | |

6 改革改善の実施状況（平成29年度～）

| |
|--|
| ・打ち合わせ、マニュアル作成を行い、市職員と在宅保健師・栄養士が保健指導を効率良く、同じ方向で実施できるようにしている。 |
|--|

7 事業の方向性（案）

| | |
|-----------|--|
| 今後の方向性 | ③ |
| 課題及び今後の対応 | <ul style="list-style-type: none"> ・胎内市国保加入者に対し、特定健診受診率増加のために健診未受診者対策や継続受診対策、また、健診受診者に対する疾病予防・重症化予防等および、若い世代への健診や保健指導等を行っており、いずれも専門的な知識や保健指導できる保健師、管理栄養士等の確保が必要であるが、市職員だけではマンパワーが不足しており、補助金を活用して在宅保健師、栄養士等のマンパワーを確保していくとともに、効率よく進められるように、マニュアルの作成や打ち合わせを行っていく必要がある。 ・データヘルス計画に基づく事業であるがデータ分析が不十分である。住民のQOLや医療費削減のためにもほけん年金係と連携しながら、データ・医療費分析をきちんと行い、それに沿って保健事業を実施して行けるよう体制を整えていく必要がある。 |

8 二次評価

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----------|--------|---|----|----|---|---|---|----|---|---|---|---|----|---|---|---|---|-----|---|---|---|---|--|----|----|----|----|
| 今後の方向性 | ③ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 所見 | 今後の方向性 | ③ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 成果の方向性 | <table border="1"> <tr> <td>拡充</td> <td>×</td> <td>④</td> <td>②</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>×</td> <td>⑤</td> <td>③</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>×</td> <td>⑥</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td>⑦</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>縮小</td> <td>維持</td> <td>拡大</td> </tr> </table> | 拡充 | × | ④ | ② | ① | 維持 | × | ⑤ | ③ | × | 縮小 | × | ⑥ | × | × | 休廃止 | ⑦ | × | × | × | | 削減 | 縮小 | 維持 | 拡大 |
| | 拡充 | × | ④ | ② | ① | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 維持 | × | ⑤ | ③ | × | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 縮小 | × | ⑥ | × | × | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 休廃止 | ⑦ | × | × | × | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 削減 | 縮小 | 維持 | 拡大 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| コスト投入の方向性 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

事務事業評価シート（評価対象年度：令和元年度事業）

| | | | | | | | | | | |
|-------|-------------------------|-------|-------|--------|-------|----------------------|------|--------------|--------------|---------|
| 事業コード | 210121 | | 担当課 | 健康づくり課 | 担当係 | 元気応援係 | | | | |
| 事務事業名 | 食生活改善推進事業〔国民健康保険事業特別会計〕 | | | 事業年度 | 令和元年度 | | 会計区分 | 国民健康保険事業特別会計 | | |
| 基本政策 | 2 | 健康・福祉 | 事業コード | 大 | 21 | 健康づくり | 予算科目 | 款 | 04 | 保健事業費 |
| 施策 | 7 | 健康づくり | | 中 | 01 | ライフステージに合わせた健康づくりの推進 | | 項 | 01 | 保健事業費 |
| | | | | 小 | 21 | 食生活改善推進事業 | | 目 | 01 | 保健衛生普及費 |
| 事務区分 | 法定受託事務 | | ○ | 根拠法令 | | | | 関連計画 | 第2次胎内市食育推進計画 | |
| | 法令による義務付け | | | 関連条例 | | | | | | |

1 事業の取組状況

| | |
|----------|--|
| 事業の目的・概要 | 地域住民を対象とした健康づくりのための食生活の普及啓発及び食育推進活動、またその活動を行政と協働して取り組む胎内市食生活改善推進委員の研修支援等を行う。 |
| 主な実施内容 | <ul style="list-style-type: none"> 食生活改善推進委員の研修 地区での適切な食生活指導 |
| 実施方法 | 補助・負担 |

2 事業費の状況（※平成29年度～令和元年度は決算額、令和2年度は当初予算額）

| | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 |
|------------|-----------|--------|-------|-------|-------|
| 総事業費（千円） | 62 | 59 | 47 | 62 | |
| 国・県支出金 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 地方債 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| その他 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 一般財源 | 62 | 59 | 47 | 62 | |
| 人件費（千円） | 28 | 26 | 28 | | |
| 正(h) ※事業費 | 15 | 14 | 15 | | |
| 臨時(h) ※事業費 | 0 | 0 | 0 | | |
| 総事業費+人件費 | 90 | 85 | 75 | | |
| 財源「その他」内訳 | 消費品費 47千円 | | | | |
| 事業費の主な支出内容 | | | | | |

3 指標値の状況

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 |
|------|-----|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|
| 産出指標 | 名称 | 地域での食育活動開催会場数 | 地域での食育活動開催回数 | 地域での食育活動開催回数 | 地域での食育活動開催回数 | 地域での食育活動開催回数 |
| | 目標 | 25回 | 27回 | 27回 | 30回 | 32回 |
| | 実績 | 22回 | 20回 | 18回 | | |
| 成果指標 | 名称 | 地域での食育活動延参加人数 | 地域での食育活動延参加人数 | 地域での食育活動延参加人数 | 地域での食育活動延参加人数 | 地域での食育活動延参加人数 |
| | 目標 | 330人 | 350人 | 350人 | 350人 | 350人 |
| | 実績 | 587人 | 409人 | 476人 | | |
| | 目標比 | 178.0% | 116.9% | 136.0% | | |

4 達成度

| 達成度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 |
|-----------------------------------|-------------------|--------|-------|-------|-------|
| 達成度 | ◎ | ◎ | ◎ | | |
| ◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない | | | | | |
| 達成度の判定理由 | 成果指標が目標を達成しているため。 | | | | |

5 事業の点検項目

| | | | | | | |
|-----------------------------|--|-------------------------|--------|-------|-------|-------|
| 妥当性 | 事業が市民の需要（ニーズ）に合っているか | ○ | | | | |
| | ○：需要がある △：一部需要がある ▲：需要が低下している ×：あまり需要が無い | | | | | |
| | 施策の目標に対してこの事業が貢献しているか | ○ | | | | |
| | ○：貢献している △：一部貢献している ×：あまり貢献していない | | | | | |
| | 類似した事業が実施されていないか | ○ | | | | |
| | ○：類似事業がない ×：類似事業がある | | | | | |
| | 住民等の参画、協働は可能か | ○ | | | | |
| | ○：検討可能 △：一部検討可能 ×：不可能 実施：実施済 一部実施：一部実施済 | | | | | |
| | 民間への外部化（業務委託・指定管理者制度等）は可能か | × | | | | |
| | ○：検討可能 △：一部検討可能 ×：不可能 実施：実施済 一部実施：一部実施済 | | | | | |
| 協働または民間への外部化が不可能な理由 | 行政が健康づくり事業の一環として行う、食生活改善推進委員との協働事業であるため。 | | | | | |
| 効率性 | 事業実施のプロセスや手続きに改善が必要か | ○ | | | | |
| | ○：改善の必要なし △：一部改善が必要 ×：改善が必要 | | | | | |
| | 事業費や人件費に削減の余地はないか | ○ | | | | |
| | ○：削減の余地なし △：一部削減の余地あり ×：削減の余地あり | | | | | |
| | 受益者負担は事業コストに対して適正か | ○ | | | | |
| ○：適正である △：検討・見直しが必要 -：該当しない | | | | | | |
| 単位コスト | 算出方法 | 参加者1人あたり費用 総事業費÷参加者数 | | | | |
| | 実績 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 |
| | | 105.6円 | 144.3円 | 98.7円 | | |

6 改革改善の実施状況（平成29年度～）

| |
|------------------------------------|
| [H29] 食生活改善講習会等の助手謝礼を削減した。 |
| [H30] 在庫が豊富にあるものも多いため余分な購入は控えた。 |
| [R1] コロナウイルスの影響による事業中止等に伴う必要経費の減少。 |

7 事業の方向性（案）

| | |
|----------------|---|
| 今後の方向性 | ③ |
| 課題及び今後の改善方法の対応 | 食生活改善推進委員や胎内食育PR隊などの地区組織と協働し、地域のみならず学校や園、子育て支援センターなど様々な機関と連携し、食育を推進していく必要がある。 |

8 二次評価

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----------|--------|---|----|----|---|----|---|---|---|---|----|---|---|---|---|----|---|---|---|---|-----|---|---|---|---|--|----|----|----|----|
| 今後の方向性 | ③ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 所見 | 今後の方向性 | <table border="1"> <tr> <td>拡充</td> <td>×</td> <td>④</td> <td>②</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>×</td> <td>⑤</td> <td>③</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>×</td> <td>⑥</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td>⑦</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>縮小</td> <td>維持</td> <td>拡大</td> </tr> </table> | | | | 拡充 | × | ④ | ② | ① | 維持 | × | ⑤ | ③ | × | 縮小 | × | ⑥ | × | × | 休廃止 | ⑦ | × | × | × | | 削減 | 縮小 | 維持 | 拡大 |
| | 拡充 | × | ④ | ② | ① | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 維持 | × | ⑤ | ③ | × | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 縮小 | × | ⑥ | × | × | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 休廃止 | ⑦ | × | × | × | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 削減 | 縮小 | 維持 | 拡大 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| コスト投入の方向性 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

事務事業評価シート（評価対象年度：令和元年度事業）

| | | | | | | | | | | |
|-------|-----------|-------|-------|--------|----------------|----------------|------|------|---|-------|
| 事業コード | 210221 | | 担当課 | 健康づくり課 | 担当係 | 元気応援係 | | | | |
| 事務事業名 | 特定健康診査事業 | | | 事業年度 | 令和元年度 | | 会計区分 | 一般会計 | | |
| 基本政策 | 2 | 健康・福祉 | 事業コード | 大 | 21 | 健康づくり | 予算科目 | 款 | 04 | 衛生費 |
| 施策 | 7 | 健康づくり | | 中 | 02 | 早期発見・早期治療の体制強化 | | 項 | 01 | 保健衛生費 |
| | | | | 小 | 21 | 特定健康診査事業 | | 目 | 03 | 健康増進費 |
| 事務区分 | 法定受託事務 | | ○ | 根拠法令 | 健康増進法、高齢者医療確保法 | | | 関連計画 | 第2次健康増進計画「健康たいない21」、胎内市国民健康保険第2期保健事業計画、第3期特定健康診査等実施計画 | |
| | 法令による義務付け | | | 関連条例 | | | | | | |

1 事業の取組状況

| | |
|----------|--|
| 事業の目的・概要 | <ul style="list-style-type: none"> ・糖尿病、脳卒中、心筋梗塞等の生活習慣病の発症や重症化を予防することを目的に、メタボリックシンドロームに着目した健康診査を実施する。 ・肝炎ウイルス検診 ・骨粗鬆症健診 ・妊産婦、成人歯科健診 |
| 主な実施内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・問診、身体計測、血液検査、血圧測定、検尿等の各種検査、肝炎ウイルス検診、骨粗鬆症健診を集団健診として行う。 ・平成27年度からは、集団健診を受けられなかった方を対象に、指定の医療機関で受けられるよう施設健診を実施。 ・市内の歯科医院に委託し、妊産婦および成人（対象年齢有）歯科健診を実施。 ・特定健診受診者に対し健診結果説明会を実施し、結果の見方や必要な受診の勧奨および、生活習慣の見直し・改善に向けた指導を行うとともに、健診を継続受診できるよう支援する。 |
| 実施方法 | 市が直接実施+委託 |

2 事業費の状況（※平成29年度～令和元年度は決算額、令和2年度は当初予算額）

| | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 |
|------------|--|--------|--------|--------|-------|
| 総事業費（千円） | 22,306 | 20,925 | 20,519 | 24,449 | |
| 国・県支出金 | 1,036 | 1,286 | 1,336 | 1,028 | |
| 地方債 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| その他 | 17,733 | 15,911 | 16,359 | 18,080 | |
| 一般財源 | 3,537 | 3,728 | 2,824 | 5,341 | |
| 人件費（千円） | 2,441 | 2,620 | 2,782 | | |
| 正(h) ※事業費 | 861 | 942 | 1,006 | | |
| 臨時(h) ※事業費 | 1,025 | 1,025 | 1,025 | | |
| 総事業費+人件費 | 24,747 | 23,545 | 23,301 | | |
| 財源「その他」内訳 | ①特定健康診査等受託料…国保：11,324千円、後期高齢：4,683千円 ②後期高齢者歯科健康診査業務受託収入：352千円 | | | | |
| 事業費の主な支出内容 | ①健診委託料：17,911千円、②通信運搬費：566千円 ③印刷製本費：351千円 ④手数料：1,002千円 | | | | |

3 指標値の状況

| | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | |
|------|--------|-------------------|-------------------|------------------------------|------------------------------|------------------------------|
| 産出指標 | 名称 | 特定健診実施回数 | 特定健診実施回数 | 特定健診実施回数(受診者100人程度/回に対応する回数) | 特定健診実施回数(受診者100人程度/回に対応する回数) | 特定健診実施回数(受診者100人程度/回に対応する回数) |
| | 目標 | 受診者80~100人/回となる回数 | 受診者80~100人/回となる回数 | 27回 | 27回 | 27回 |
| | 実績 | 88人/回 | 86人/回 | 85人/回 | | |
| 成果指標 | 名称 | 特定健診受診率(国保加入者) | 特定健診受診率(国保加入者) | 特定健診受診率(国保加入者) | 特定健診受診率(国保加入者) | 特定健診受診率(国保加入者) |
| | 目標 | 60% | 60% | 52% | 54% | 56% |
| | 実績 | 45.1% | 45.5% | 45.7% | | |
| | 目標比 | 75.2% | 75.3% | | | |

4 達成度

| 達成度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 |
|-----------------------------------|--|--------|-------|-------|-------|
| 達成度 | △ | △ | △ | | |
| ◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない | | | | | |
| 達成度の判明理由 | 胎内市国保加入者の中には、①定期的に医療期間を受診していたり、②商工会で行う健康診断を受けているため市の特定健診を受けないという方もおり、そういう方も受診率の分母に含まれるため、なかなか受診率が伸びない。国保加入者の高齢化により、①の割合が高くなっており、健診の結果から医療機関への受診につながると、特定健診を受けなくなる方が増えているのが現状である。 | | | | |

5 事業の点検項目

| | | | | |
|-------|--|----------------------------------|-------|-------|
| 妥当性 | 事業が市民の需要（ニーズ）に合っているか | ○ | | |
| | ○：需要がある △：一部需要がある ▲：需要が低下している ×：あまり需要が無い | | | |
| | 施策の目標に対してこの事業が貢献しているか | ○ | | |
| 実施 | ○：貢献している △：一部貢献している ×：あまり貢献していない | | | |
| | 類似した事業が実施されていないか | × | | |
| | ○：類似事業がない ×：類似事業がある | | | |
| 効率性 | 住民等の参画、協働は可能か | × | | |
| | ○：検討可能 △：一部検討可能 ×：不可能 実施：実施済 一部実施：一部実施済 | | | |
| | 民間への外部化（業務委託・指定管理者制度等）は可能か | 実施 | | |
| 単位コスト | ○：検討可能 △：一部検討可能 ×：不可能 実施：実施済 一部実施：一部実施済 | | | |
| | 協働または民間への外部化が不可能な理由 | 保険者が実施する義務があり、専門的内容のため住民参画は適さない。 | | |
| | 事業実施のプロセスや手続きに改善が必要か | △ | | |
| 算出方法 | ○：改善の必要なし △：一部改善が必要 ×：改善が必要 | | | |
| | 事業費や人件費に削減の余地はないか | ○ | | |
| | ○：削減の余地なし △：一部削減の余地あり ×：削減の余地あり | | | |
| 実績 | 受益者負担は事業コストに対して適正か | ○ | | |
| | ○：適正である △：検討・見直しが必要 -：該当しない | | | |
| | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 |

6 改革改善の実施状況（平成29年度～）

| |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・他のがん検診と同時に受診できるよう複合健診を実施。 ・特定健診結果説明会を継続実施中。 ・令和元年度から歯科健診は補助金対象にならない年齢を止め、補助金対象となる後期高齢者歯科健診を開始した。また、後期高齢者健診の基準単価が増額したため、歳入が増額した。 |
|--|

7 事業の方向性（案）

| | |
|------------|---|
| 今後の方向性 | ⑤ |
| 課題及び改善後の対応 | <ul style="list-style-type: none"> ・国保加入者だが職場健診を受診している人もいるためか、若い世代での受診率が低い。また、医療機関に定期受診しているため健診を受診しない人も多く、全体的に医療機関の定期受診者や職場健診受診者をどのように把握するか検討が必要である。 ・疾病予防や重症化予防のためには健診結果をしっかりと理解し、生活習慣の見直しや継続受診していくことが必要であり、健診の結果説明会の参加率が増えているので継続して実施していく。 ・特定健診は全部委託したが、がん検診と同時実施したり、当日わかる結果の説明や結果説明会の案内など保健師の対応する業務は多いため在宅の保健師などマンパワーの確保が必要である。 ・成人歯科健診の対象を見直し、後期高齢者歯科健診に取組み歯科健診の内容も口腔機能を追加し、若い世代から口腔機能に関心を持ってもらうようにしたり、介護予防を図っていきたい。 |

8 二次評価

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----------|--|----|----|----|---|---|----|---|---|---|---|----|---|---|---|---|-----|---|---|---|---|----|---|----|----|----|
| 今後の方向性 | ③ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 所見 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 今後の方向性 | <table border="1"> <tr> <td>拡充</td> <td>×</td> <td>④</td> <td>②</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>×</td> <td>⑤</td> <td>③</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>×</td> <td>⑥</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td>⑦</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>×</td> <td>縮小</td> <td>維持</td> <td>拡大</td> </tr> </table> | 拡充 | × | ④ | ② | ① | 維持 | × | ⑤ | ③ | × | 縮小 | × | ⑥ | × | × | 休廃止 | ⑦ | × | × | × | 削減 | × | 縮小 | 維持 | 拡大 |
| 拡充 | × | ④ | ② | ① | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 維持 | × | ⑤ | ③ | × | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 縮小 | × | ⑥ | × | × | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 休廃止 | ⑦ | × | × | × | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 削減 | × | 縮小 | 維持 | 拡大 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| コスト投入の方向性 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

事務事業評価シート（評価対象年度：令和元年度事業）

| | | | | | | | | | | |
|-------|---------------|-------|-------|--------|-------|----------------|------|----------|----|-------|
| 事業コード | 210222 | | 担当課 | 健康づくり課 | 担当係 | 元気応援係 | | | | |
| 事務事業名 | 各種がん検診等健康診査事業 | | | 事業年度 | 令和元年度 | | 会計区分 | 一般会計 | | |
| 基本政策 | 2 | 健康・福祉 | 事業コード | 大 | 21 | 健康づくり | 予算科目 | 款 | 04 | 衛生費 |
| 施策 | 7 | 健康づくり | | 中 | 02 | 早期発見・早期治療の体制強化 | | 項 | 01 | 保健衛生費 |
| | | | | 小 | 22 | 各種がん検診等健康診査事業 | | 目 | 03 | 健康増進費 |
| 事務区分 | 法定受託事務 | | ○ | 根拠法令 | 健康増進法 | | 関連計画 | 健康たいない21 | | |
| | 法令による義務付け | | | 関連条例 | | | | | | |

1 事業の取組状況

| | |
|----------|---|
| 事業の目的・概要 | がんの早期発見、早期治療により、がん死亡を減少させることを目的に健康増進法に定められた各種がん検診等を実施する。 |
| 主な実施内容 | <ul style="list-style-type: none"> 健康診査申込書兼調査票に基づき、受診票等の案内を個人通知する。 胃がん検診[集団(バリウム)・施設(胃内視鏡)]、肺がん検診(集団)、大腸がん検診(集団)、子宮頸がん検診(集団・施設)、乳がん検診(集団)、前立腺がん検診(集団) 受診者への結果通知 要精検者には個別に受診勧奨を実施 がん検診未受診者への再通知[胃がん検診(バリウム)、肺がん検診、大腸がん検診、子宮頸がん検診、乳がん検診] |
| 実施方法 | 市が直接実施+委託 |

2 事業費の状況（※平成29年度～令和元年度は決算額、令和2年度は当初予算額）

| | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 |
|------------|--|--------|--------|--------|-------|
| 総事業費(千円) | 32,364 | 32,179 | 29,710 | 34,127 | |
| 国・県支出金 | 263 | 270 | 170 | 170 | |
| 地方債 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| その他 | 3,047 | 1,034 | 316 | 296 | |
| 一般財源 | 29,054 | 30,875 | 29,224 | 33,661 | |
| 人件費(千円) | 2,393 | 2,413 | 2,469 | | |
| 正(h) ※事業費 | 1,300 | 1,300 | 1,300 | | |
| 臨時(h) ※事業費 | 0 | 0 | 0 | | |
| 総事業費+人件費 | 34,757 | 34,592 | 32,179 | | |
| 財源「その他」内訳 | 検診助成個人負担金 316千円 | | | | |
| 事業費の主な支出内容 | 委託料25,872千円、役務費1,704千円、需用費588千円、報酬819千円、職員手当112千円、賃金77千円、負担金45千円、旅費4千円 | | | | |

3 指標値の状況

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 |
|------|-----|--------------------------------------|--------------------------------------|-------------------------------------|----------------------------|----------------------------|
| 産出指標 | 名称 | 検診受診者数 | 検診受診者数 | がん検診受診者数 | がん検診受診者数 | がん検診受診者数 |
| | 目標 | 10,500人 | 10,600人 | 10,350人 | 10,450人 | 10,400人 |
| | 実績 | 10,479人 | 10,281人 | 10,115人 | | |
| 成果指標 | 名称 | 検診受診率 | 検診受診率 | がん検診受診率 | がん検診受診率 | がん検診受診率 |
| | 目標 | 胃16%、大腸33%、肺51%、子宮17%、乳28% | 胃17%、大腸34%、肺52%、子宮18%、乳29% | 胃10%、大腸15%、肺21%、子宮16%、乳25% | 胃11%、大腸16%、肺21%、子宮17%、乳26% | 胃12%、大腸17%、肺22%、子宮18%、乳27% |
| | 実績 | 胃18.4%、大腸31.2%、肺47.6%、子宮16.7%、乳30.3% | 胃21.1%、大腸30.7%、肺45.7%、子宮15.9%、乳28.9% | 胃7.5%、大腸12.3%、肺18.3%、子宮18.1%、乳27.9% | | |
| | 目標比 | 胃115%、大腸94.5%、肺93.3%、子宮98.2%、乳108.2% | 胃124%、大腸90.3%、肺87.9%、子宮88.3%、乳99.7% | 胃75%、大腸82%、肺87.1%、子宮113.1%、乳111.6% | | |

4 達成度

| 達成度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 |
|-----------------------------------|--|--------|-------|-------|-------|
| 達成度 | ○ | ○ | ○ | | |
| ◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない | | | | | |
| 達成度の判定理由 | 目標値以上に達成している検診と未達成の検診があるが、概ね目標に近い実績をあげている。 | | | | |

5 事業の点検項目

| | | | | | |
|----------------------|---|---------|---------|-------|-------|
| 事業が市民の需要(ニーズ)に合っているか | ○：需要がある △：一部需要がある ▲：需要が低下している ×：あまり需要が無い | ○ | | | |
| | 施策の目標に対してこの事業が貢献しているか | ○ | | | |
| | 類似した事業が実施されていないか | × | | | |
| 妥当性 | ○：類似事業がない ×：類似事業がある | | | | |
| | 住民等の参画、協働は可能か | △ | | | |
| | 民間への外部化(業務委託・指定管理者制度等)は可能か | 実施 | | | |
| 効率性 | ○：検討可能 △：一部検討可能 ×：不可能 実施：実施済 一部実施：一部実施済 | | | | |
| | 協働または民間への外部化が不可能な理由 | | | | |
| | 事業実施のプロセスや手続きに改善が必要か | △ | | | |
| 単位コスト | ○：改善の必要なし △：一部改善が必要 ×：改善が必要 | | | | |
| | 事業費や人件費に削減の余地はないか | ○ | | | |
| | 受益者負担は事業コストに対して適正か | △ | | | |
| 算出方法 | (大腸がん検診委託料3310千円+検診従事・通知事務等件数33千円+大腸キットなど33千円)÷検診受診者数 | | | | |
| 実績 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 |
| | 約1,540円 | 約1,650円 | 約1,320円 | | |

6 改革改善の実施状況(平成29年度～)

- ・H29年度から41、46、51、56、61歳の胃がん検診無料クーポン事業を開始した。胃がん検診の胃内視鏡検診受診者は増加したが、その分バリウム検診は受診者が減少した。
- ・クーポン券の利用率が低く、クーポン利用者ではクーポン対象の5年に1回しか受診しない人もいたことから、H31年度からがん検診無料クーポン事業を5歳刻みから国の補助と同様に検診対象となる初年度のみに変更した。適正間隔での受診の周知や未受診者への受診勧奨、検診PRを行う。
- ・平成31年度から前立腺がん検診の受診者の少ない施設検診は止め、特定健診と同時実施の集団健診のみとした。

7 事業の方向性(案)

| | |
|------------|--|
| 今後の方向性 | ③ |
| 課題及び改善後の対応 | <ul style="list-style-type: none"> ・市報等でがん検診をPRし適正な受診間隔で受診する人を増やし、早期発見につなげていく。(・コロナウイルス感染症が収束したら、健(検)診をPRしてくれる市民ボランティアと協働でがん検診をPRしていく。) ・がん検診未受診者への再通知を継続する。 ・精密検査対象となった方には個別に通知や訪問し、受診勧奨し精密検査を確実に受診できるようにしていく。 ・胃内視鏡検診を健康な人は2年に1回でよいという国の基準に令和3年度から変更する。 ・乳がん検診委託料1方向、2方向で料金に違いがあるため近隣市町村並みの受益者負担金を検討していく。 ・今後、コロナウイルス感染症対策を行いながらの検診実施が必要であり、人件費や消毒薬等の需用費がさらに必要である。 |

8 二次評価

| | | | | |
|-----------|-----|----|----|----|
| 今後の方向性 | ③ | | | |
| 所見 | | | | |
| 今後の方向性 | | | | |
| 成果の方向性 | 拡充 | ④ | ② | ① |
| | 維持 | ⑤ | ③ | |
| | 縮小 | ⑥ | | |
| | 休廃止 | ⑦ | | |
| | | 削減 | 縮小 | 維持 |
| コスト投入の方向性 | | | | |

事務事業評価シート（評価対象年度：令和元年度事業）

| | | | | | | | | | | |
|-------|-------------|-------|-------|--------|-----------------------------|----------------|------|---|----|-------|
| 事業コード | 210220 | | 担当課 | 健康づくり課 | 担当係 | 庶務係 | | | | |
| 事務事業名 | 結核対策・予防接種事業 | | 事業年度 | 令和元年度 | | 会計区分 | 一般会計 | | | |
| 基本政策 | 2 | 健康・福祉 | 事業コード | 大 | 21 | 健康づくり | 予算科目 | 款 | 04 | 衛生費 |
| 施策 | 7 | 健康づくり | | 中 | 02 | 早期発見・早期治療の体制強化 | | 項 | 01 | 保健衛生費 |
| | | | | 小 | 20 | 結核対策・予防接種事業 | | 目 | 04 | 予防費 |
| 事務区分 | 法定受託事務 | | 〇 | 根拠法令 | 予防接種法・感染症法 | | | | | |
| | 法令による義務付け | | | 関連条例 | 風しん費用助成実施要綱、インフルエンザ費用助成実施要綱 | | 関連計画 | | | |

1 事業の取組状況

| | |
|----------|---|
| 事業の目的・概要 | <p>定期の予防接種と任意の予防接種により、免疫保有率を向上させ、感染症の蔓延を防止する。 また、結核検診(含肺がん検診)として65歳以上の胸部レントゲン撮影を実施する。</p> |
| 主な実施内容 | <p>予防接種法に基づく定期予防接種の実施と、任意防接種の接種費用の助成。 感染症法に基づく結核検診(65歳以上の胸部X線間接撮影)を実施。</p> |
| 実施方法 | 市が直接実施+委託 |

2 事業費の状況（※平成29年度～令和元年度は決算額、令和2年度は当初予算額）

| | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 |
|------------|--|--------|--------|--------|-------|
| 総事業費(千円) | 76,837 | 75,984 | 73,428 | 84,661 | |
| 国・県支出金 | 1,524 | 1,549 | 2,384 | 1,556 | |
| 地方債 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| その他 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 一般財源 | 75,313 | 74,435 | 71,044 | 83,105 | |
| 人件費(千円) | 2,530 | 2,339 | 2,393 | | |
| 正(h) ※事業費 | 1,260 | 1,260 | 1,260 | | |
| 臨時(h) ※事業費 | 252 | 0 | 0 | | |
| 総事業費+人件費 | 79,367 | 78,323 | 75,821 | | |
| 財源「その他」内訳 | | | | | |
| 事業費の主な支出内容 | 個別予防接種委託料 63,121千円 予防接種健康被害救済支援事業助成金 1,454千円 予防接種健康被害救済金 1,860千円 | | | | |

3 指標値の状況

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 |
|------|-----|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|
| 産出指標 | 名称 | 麻しん風しん混合ワクチン2期接種者数 | 麻しん風しん混合ワクチン2期接種者数 | 麻しん風しん混合ワクチン2期接種者数 | 麻しん風しん混合ワクチン2期接種者数 | 麻しん風しん混合ワクチン2期接種者数 |
| | 目標 | 208人 | 228人 | 190人 | 190人 | 190人 |
| | 実績 | 204人 | 230人 | 216人 | | |
| 成果指標 | 名称 | 麻しん風しん混合ワクチン2期接種率 | 麻しん風しん混合ワクチン2期接種率 | 麻しん風しん混合ワクチン2期接種率 | 麻しん風しん混合ワクチン2期接種率 | 麻しん風しん混合ワクチン2期接種率 |
| | 目標 | 95% | 95% | 95% | 95% | 95% |
| | 実績 | 98% | 101% | 114% | | |
| | 目標比 | 103% | 106% | 120% | | |

4 達成度

| 達成度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 |
|-----------------------------------|---|--------|-------|-------|-------|
| 達成度 | ○ | ○ | ○ | | |
| ◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない | | | | | |
| 達成度の判定理由 | 成果指標の目標比は100%以上であったが、実績数として対象者227人に対して接種者216人であり、接種率は95.2%だったことから概ね達成とする。 | | | | |

5 事業の点検項目

| | | |
|-------|---|----------------------|
| 妥当性 | 事業が市民の需要(ニーズ)に合っているか ○：需要がある △：一部需要がある ▲：需要が低下している ×：あまり需要が無い | ○ |
| | 施策の目標に対してこの事業が貢献しているか ○：貢献している △：一部貢献している ×：あまり貢献していない | ○ |
| | 類似した事業が実施されていないか ○：類似事業がない ×：類似事業がある | ○ |
| | 住民等の参画、協働は可能か ○：検討可能 △：一部検討可能 ×：不可能 実施：実施済 一部実施：一部実施済 | × |
| 効率性 | 民間への外部化(業務委託・指定管理者制度等)は可能か ○：検討可能 △：一部検討可能 ×：不可能 実施：実施済 一部実施：一部実施済 | × |
| | 協働または民間への外部化が不可能な理由 | 関係法令に基づき市に実施義務があるため。 |
| | 事業実施のプロセスや手続きに改善が必要か ○：改善の必要なし △：一部改善が必要 ×：改善が必要 | ○ |
| | 事業費や人件費に削減の余地はないか ○：削減の余地なし △：一部削減の余地あり ×：削減の余地あり | ○ |
| 単位コスト | 受益者負担は事業コストに対して適正か ○：適正である △：検討・見直しが必要 -：該当しない | ○ |
| | 算出方法 | 実績 |

6 改革改善の実施状況(平成29年度～)

風しん罹患者数の増加に伴う注意喚起として、風しん感染の蔓延を防ぐため、ホームページに感染予防対策及び予防接種費用助成制度について掲載。

7 事業の方向性(案)

| | |
|-----------|---|
| 今後の方向性 | ③ |
| 課題及び今後の対応 | 【課題及び今後の対応】 ・各種予防接種は、感染症を予防し、またそのまん延を防ぐことにより市民の生命と健康を守る重要な事業であることから対象者の接種率向上に努める。そのため、今後も引き続き個別での案内や適時に市報の掲載、啓発ポスターの掲示等により周知徹底を図り接種率向上に繋げる。また、任意の予防接種については、関係医療機関と連携し推進する。 ・予防接種法や感染症法等の関連法令の改正による対応については、事務の煩雑化にならないよう引続き県及び関係医療機関等と連携を図る。 【産出指標の変更】 ・出生数の減少が見込まれるため、令和元年度からの目標を190人に変更している。 |

8 二次評価

| 今後の方向性 | ③ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----------|---|--------|---|--|--|----|---|---|---|----|---|---|---|----|---|---|---|-----|---|---|---|----|---|---|---|----|---|---|---|----|---|---|---|----|---|---|---|
| 所見 | <table border="1"> <tr> <th colspan="4">今後の方向性</th> </tr> <tr> <td>拡充</td> <td>④</td> <td>②</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>⑤</td> <td>③</td> <td>④</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>⑥</td> <td>④</td> <td>⑤</td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td>⑦</td> <td>⑤</td> <td>⑥</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>⑧</td> <td>⑥</td> <td>⑦</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>⑨</td> <td>⑦</td> <td>⑧</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>⑩</td> <td>⑧</td> <td>⑨</td> </tr> <tr> <td>拡大</td> <td>⑪</td> <td>⑨</td> <td>⑩</td> </tr> </table> | 今後の方向性 | | | | 拡充 | ④ | ② | ① | 維持 | ⑤ | ③ | ④ | 縮小 | ⑥ | ④ | ⑤ | 休廃止 | ⑦ | ⑤ | ⑥ | 削減 | ⑧ | ⑥ | ⑦ | 縮小 | ⑨ | ⑦ | ⑧ | 維持 | ⑩ | ⑧ | ⑨ | 拡大 | ⑪ | ⑨ | ⑩ |
| | 今後の方向性 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 拡充 | ④ | ② | ① | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 維持 | ⑤ | ③ | ④ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 縮小 | ⑥ | ④ | ⑤ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 休廃止 | ⑦ | ⑤ | ⑥ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 削減 | ⑧ | ⑥ | ⑦ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 縮小 | ⑨ | ⑦ | ⑧ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 維持 | ⑩ | ⑧ | ⑨ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 拡大 | ⑪ | ⑨ | ⑩ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| コスト投入の方向性 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

事務事業評価シート（評価対象年度：令和元年度事業）

| | | | | | | | | | | |
|-------|--------------|-------|-------|--------|----------------------|--------------------|------|----------|----|---------|
| 事業コード | 210310 | | 担当課 | 健康づくり課 | 担当係 | 庶務係 | | | | |
| 事務事業名 | ほっとHOT中条管理事業 | | | 事業年度 | 令和元年度 | | 会計区分 | 一般会計 | | |
| 基本政策 | 2 | 健康・福祉 | 事業コード | 大 | 21 | 健康づくり | 予算科目 | 款 | 04 | 衛生費 |
| 施策 | 7 | 健康づくり | | 中 | 03 | 元気・ふれあい・生きがいづくりの推進 | | 項 | 01 | 保健衛生費 |
| | | | | 小 | 10 | ほっとHOT中条管理事業 | | 目 | 01 | 保健衛生総務費 |
| 事務区分 | 法定受託事務 | | ○ | 根拠法令 | 地域保健法 | | | | | |
| | 法令による義務付け | | | 関連条例 | 胎内市保健福祉施設ほっとHOT・中条条例 | | 関連計画 | 健康たいない21 | | |

1 事業の取組状況

| | |
|----------|---|
| 事業の目的・概要 | 総合的な健康づくりの拠点となる保健福祉施設「HOTほっと・中条」の維持管理及び運営を行う。 |
| 主な実施内容 | ・施設の運営 ・施設の管理委託 |
| 実施方法 | 市が直接実施+委託 |

2 事業費の状況（※平成29年度～令和元年度は決算額、令和2年度は当初予算額）

| | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 |
|------------|---|--------|--------|---------|-------|
| 総事業費（千円） | 15,029 | 22,963 | 14,840 | 157,981 | |
| 国・県支出金 | 0 | 0 | 0 | 104,781 | |
| 地方債 | 0 | 0 | 0 | 29,800 | |
| その他 | 3,212 | 3,439 | 3,452 | 3,811 | |
| 一般財源 | 11,817 | 19,524 | 11,388 | 19,589 | |
| 人件費（千円） | 3,496 | 3,525 | 3,606 | | |
| 正(h) ※事業費 | 1,899 | 1,899 | 1,899 | | |
| 臨時(h) ※事業費 | 0 | 0 | 0 | | |
| 総事業費+人件費 | 18,525 | 26,488 | 18,446 | | |
| 財源「その他」内訳 | ほっとHOT使用料157千円、保健福祉施設敷地使用料115千円、社会福祉協議会施設管理者負担金3,178千円、コピー代 2千円 | | | | |
| 事業費の主な支出内容 | 需用費 6,681千円、役務費 494千円、委託料 6,618千円、使用料及び賃借料 569千円 工事請負費 478千円 | | | | |

3 指標値の状況

| | | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 |
|------|-----|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 産出指標 | 名称 | 年間の施設開設日数 | 年間の施設開設日数 | 年間の施設開設日数 | 年間の施設開設日数 | 年間の施設開設日数 |
| | 目標 | 359日 | 359日 | 359日 | 359日 | 359日 |
| | 実績 | 359日 | 359日 | 358日 | | |
| 成果指標 | 名称 | 年間の施設利用人数 | 年間の施設利用人数 | 年間の施設利用人数 | 年間の施設利用人数 | 年間の施設開設人数 |
| | 目標 | 50,000人 | 45,000人 | 45,000人 | 45,000人 | 45,000人 |
| | 実績 | 43,745人 | 47,439人 | 42,324人 | | |
| | 目標比 | 87.5% | 105.4% | 94.1% | | |
| | | | | | | |

4 達成度

| 達成度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 |
|-----------------------------------|----------------------|--------|-------|-------|-------|
| 達成度 | ○ | ◎ | ○ | | |
| ◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない | | | | | |
| 達成度の判定理由 | 目標人数に対し90%以上を達成している。 | | | | |

5 事業の点検項目

| | | | | | |
|-------|--|--------|-------|-------|-------|
| 妥当性 | 事業が市民の需要（ニーズ）に合っているか | ○ | | | |
| | ○：需要がある △：一部需要がある ▲：需要が低下している ×：あまり需要が無い | | | | |
| | 施策の目標に対してこの事業が貢献しているか | ○ | | | |
| | ○：貢献している △：一部貢献している ×：あまり貢献していない | | | | |
| | 類似した事業が実施されていないか | ○ | | | |
| | ○：類似事業がない ×：類似事業がある | | | | |
| 実施 | 住民等の参画、協働は可能か | 実施 | | | |
| | ○：検討可能 △：一部検討可能 ×：不可能 実施：実施済 一部実施：一部実施済 | | | | |
| | 民間への外部化（業務委託・指定管理者制度等）は可能か | 実施 | | | |
| 効率性 | ○：検討可能 △：一部検討可能 ×：不可能 実施：実施済 一部実施：一部実施済 | | | | |
| | 協働または民間への外部化が不可能な理由 | | | | |
| | 事業実施のプロセスや手続きに改善が必要か | ○ | | | |
| 単位コスト | ○：改善の必要なし △：一部改善が必要 ×：改善が必要 | | | | |
| | 事業費や人件費に削減の余地はないか | ○ | | | |
| | ○：削減の余地なし △：一部削減の余地あり ×：削減の余地あり | | | | |
| | 受益者負担は事業コストに対して適正か | ○ | | | |
| | ○：適正である △：検討・見直しが必要 -：該当しない | | | | |
| 算出方法 | | | | | |
| 実績 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 |

6 改革改善の実施状況（平成29年度～）

施設の維持修繕を実施。空調設備の更新については、イニシャル、ランニングの両面からコストを比較に加え、福祉避難所としての機能継続性から引続きガスヒートポンプを採用する。補助事業に採択された場合は、太陽光発電設備を設置できる。

7 事業の方向性（案）

| | |
|-----------|---|
| 今後の方向性 | ③ |
| 課題及び今後の対応 | <p>【課題及び今後の対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設利用人数が減少から回復の兆しを見せていたが、2月～3月のコロナウイルスによる各事業の自粛もあり、再び減少した。 その一方で、併設する育ちの森公園は休校・休園で行き場のない子供たちが多く訪れ（人数未把握）、安心して利用できるよりどころとして市民に定着していることが改めて確認された。 開設から20年以上が経過し施設及び設備の経年による故障等が発生しているが、今後、福祉避難所として実効性のある機能確保も含め、ソフト・ハード両面から運営管理を実施する。 |

8 二次評価

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----------|---|--------|---|--------|--|--|--|--------|----|---|---|---|--|----|---|---|--|--|----|---|--|--|--|-----|---|--|--|--|-----------|----|--|--|--|--|----|--|--|--|--|--|----|--|--|--|--|--|----|--|--|--|--|
| 今後の方向性 | ③ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 所見 | 電気設備の保守点検委託などについて、経費削減のため市役所本庁舎等との一括管理による委託契約を検討する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 今後の方向性 | <table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="4">今後の方向性</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">成果の方向性</td> <td>拡充</td> <td>④</td> <td>②</td> <td>①</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>⑤</td> <td>③</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>⑥</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td>⑦</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">コスト投入の方向性</td> <td>削減</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>拡大</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> | | | 今後の方向性 | | | | 成果の方向性 | 拡充 | ④ | ② | ① | | 維持 | ⑤ | ③ | | | 縮小 | ⑥ | | | | 休廃止 | ⑦ | | | | コスト投入の方向性 | 削減 | | | | | 縮小 | | | | | | 維持 | | | | | | 拡大 | | | | |
| | | 今後の方向性 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 成果の方向性 | 拡充 | ④ | ② | ① | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 維持 | ⑤ | ③ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 縮小 | ⑥ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 休廃止 | ⑦ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| コスト投入の方向性 | 削減 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 縮小 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 維持 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 拡大 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

事務事業評価シート（評価対象年度：令和元年度事業）

| | | | | | | | | | | |
|-------|---------------|-------|-------|--------|---------------|--------------------|------|------|---------------------|-------|
| 事業コード | 210311 | | 担当課 | 健康づくり課 | 担当係 | 元気応援係 | | | | |
| 事務事業名 | 国民健康づくり地方推進事業 | | | 事業年度 | 令和元年度 | | 会計区分 | 一般会計 | | |
| 基本政策 | 2 | 健康・福祉 | 事業コード | 大 | 21 | 健康づくり | 予算科目 | 款 | 04 | 衛生費 |
| 施策 | 7 | 健康づくり | | 中 | 03 | 元気・ふれあい・生きがいづくりの推進 | | 項 | 01 | 保健衛生費 |
| | | | | 小 | 11 | 国民健康づくり地方推進事業 | | 目 | 04 | 予防費 |
| 事務区分 | 法定受託事務 | | ○ | 根拠法令 | 健康増進法、自殺対策基本法 | | | 関連計画 | 第2次健康増進計画「健康たいない21」 | |
| | 法令による義務付け | | | 関連条例 | | | | | | |

1 事業の取組状況

| | |
|----------|---|
| 事業の目的・概要 | 健康増進計画及び食育推進計画の推進のため、市民協働による健康づくり活動の企画・運営及び研修会を実施する。また、こころの健康づくりを推進し、自殺予防対策にも取り組む。 |
| 主な実施内容 | <ul style="list-style-type: none"> 市民協働の健康づくり活動のための地区組織及び人材育成 健康づくり事業及び食育の推進 こころの健康と自殺予防対策 |
| 実施方法 | 市が直接実施＋補助・負担 |

2 事業費の状況（※平成29年度～令和元年度は決算額、令和2年度は当初予算額）

| | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 |
|------------|--|--------|-------|-------|-------|
| 総事業費（千円） | 1,960 | 1,999 | 2,026 | 2,125 | |
| 国・県支出金 | 281 | 228 | 351 | 281 | |
| 地方債 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| その他 | 24 | 11 | 28 | 41 | |
| 一般財源 | 1,655 | 1,760 | 1,647 | 1,803 | |
| 人件費（千円） | 2,598 | 2,246 | 2,399 | | |
| 正(h) ※事業費 | 1,381 | 1,192 | 1,235 | | |
| 臨時(h) ※事業費 | 67 | 39 | 63 | | |
| 総事業費＋人件費 | 4,558 | 4,245 | 4,425 | | |
| 財源「その他」内訳 | 食育推進レシピ集販売収9千円 ほっとHOT・中条健康づくり事業参加負担金19千円 | | | | |
| 事業費の主な支出内容 | 報酬54千円・職員手当154千円・報償費481千円・旅費77千円・需用費485千円・役務費185千円・負担金補助及び交付金214千円 | | | | |

3 指標値の状況

| | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | |
|------|--------|---|---|---|---|---|
| 産出指標 | 名称 | ほっとHOT・中条を拠点とした健康づくり活動の企画・研修会・イベントの開催回数 | ほっとHOT・中条を拠点とした健康づくり活動の企画・研修会・イベントの開催回数 | ほっとHOT・中条を拠点とした健康づくり活動の企画・研修会・イベントの開催回数 | ほっとHOT・中条を拠点とした健康づくり活動の企画・研修会・イベントの開催回数 | ほっとHOT・中条を拠点とした健康づくり活動の企画・研修会・イベントの開催回数 |
| | 目標 | 150回 | 150回 | 150回 | 150回 | 150回 |
| | 実績 | 164回 | 180回 | 158回 | | |
| 成果指標 | 名称 | ほっとHOT・中条を拠点とした健康づくり活動の企画・研修会・イベントの参加延べ人数 | ほっとHOT・中条を拠点とした健康づくり活動の企画・研修会・イベントの参加延べ人数 | ほっとHOT・中条を拠点とした健康づくり活動の企画・研修会・イベントの参加延べ人数 | ほっとHOT・中条を拠点とした健康づくり活動の企画・研修会・イベントの参加延べ人数 | ほっとHOT・中条を拠点とした健康づくり活動の企画・研修会・イベントの参加延べ人数 |
| | 目標 | 5,000人 | 5,000人 | 5,000人 | 5,000人 | 5,000人 |
| | 実績 | 5,689人 | 3,028人 | 3,094人 | | |
| | 目標比 | 114.0% | 60.6% | 61.9% | | |

4 達成度

| | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 |
|-----------------------------------|--|--------|-------|-------|-------|
| 達成度 | ◎ | △ | △ | | |
| ◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない | | | | | |
| 達成度の判定理由 | 産出指標は目標を達成しているが、成果指標は達成できていない。今後も継続して元気づくり事業に参加する市民を増やし、健康寿命の延伸につなげるための取り組みが必要である。 | | | | |

5 事業の点検項目

| | | | | | |
|-------|--|--------|-------|-------|-------|
| 妥当性 | 事業が市民の需要（ニーズ）に合っているか ○：需要がある △：一部需要がある ▲：需要が低下している ×：あまり需要が無い | ○ | | | |
| | 施策の目標に対してこの事業が貢献しているか ○：貢献している △：一部貢献している ×：あまり貢献していない | ○ | | | |
| | 類似した事業が実施されていないか ○：類似事業がない ×：類似事業がある | × | | | |
| 実施 | 住民等の参画、協働は可能か ○：検討可能 △：一部検討可能 ×：不可能 実施：実施済 一部実施：一部実施済 | 実施 | | | |
| | 民間への外部化（業務委託・指定管理者制度等）は可能か ○：検討可能 △：一部検討可能 ×：不可能 実施：実施済 一部実施：一部実施済 | × | | | |
| 効率性 | 協働または民間への外部化が不可能な理由 企画運営を市民ボランティアが行っており、外部に委託することで経費の増大が見込まれるため、委託には適さない。 | | | | |
| | 事業実施のプロセスや手続きに改善が必要か ○：改善の必要なし △：一部改善が必要 ×：改善が必要 | △ | | | |
| | 事業費や人件費に削減の余地はないか ○：削減の余地なし △：一部削減の余地あり ×：削減の余地あり | ○ | | | |
| 単位コスト | 受益者負担は事業コストに対して適正か ○：適正である △：検討・見直しが必要 -：該当しない | ○ | | | |
| | 算出方法 | | | | |
| 実績 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 |
| | | | | | |

6 改革改善の実施状況（平成29年度～）

H29年度から健康福祉まつりの予算を目的が同じため、この事業に含め予算計上した。

7 事業の方向性（案）

| | |
|-----------|--|
| 今後の方向性 | ③ |
| 課題及び今後の対応 | <p>健康増進計画「健康たいない21」に基づく健康づくり活動を市民協働で実施している。健康づくりボランティアがやりがいを持ち、楽しんで参加する市民が多いことは、企画会・研修会を重ねてきた成果と言える。</p> <p>平成30年度からはTainai健康づくりフェアとして健康づくりの推進を目的に会場も変え、実施したこともあり、イベント参加人数が激減した。しかし、参加者にとっては目的がわかりやすく、体験を通して健康づくりを体感してもらうことができている。</p> <p>元気づくり活動に参加している人たちは一般市民より、健康寿命にも影響すると言われている主観的健康感が高い。今後も継続して元気づくり事業に参加する市民を増やし、健康寿命の延伸につなげていけるよう、市民の協力を得ながら進めていきたい。そのために、市民の持っている力を引き出し、夢を共に語り、人と人をつなげ、市民と行政各課も含めた関係機関と連携しながら、3密を避け活動を継続する。</p> |

8 二次評価

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----------|--------|---|----|---|---|---|---|----|---|---|---|---|----|---|---|---|---|-----|---|---|---|---|----|---|---|---|---|
| 今後の方向性 | ③ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 所見 | 成果の方向性 | <table border="1"> <tr> <td>拡充</td> <td>×</td> <td>④</td> <td>②</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>×</td> <td>⑤</td> <td>③</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>×</td> <td>⑥</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td>⑦</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> | 拡充 | × | ④ | ② | ① | 維持 | × | ⑤ | ③ | × | 縮小 | × | ⑥ | × | × | 休廃止 | ⑦ | × | × | × | 削減 | × | × | × | × |
| | 拡充 | × | ④ | ② | ① | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 維持 | × | ⑤ | ③ | × | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 縮小 | × | ⑥ | × | × | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 休廃止 | ⑦ | × | × | × | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 削減 | × | × | × | × | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| コスト投入の方向性 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 削減 | × | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 縮小 | × | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 維持 | × | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 拡大 | × | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

事務事業評価シート（評価対象年度：令和元年度事業）

| | | | | | | | | |
|-------|------------|-------|-------|--------|-------------------|----------|------|---------|
| 事業コード | 210312 | | 担当課 | 健康づくり課 | 担当係 | 庶務係 | | |
| 事務事業名 | にこ楽・胎内運営事業 | | 事業年度 | 令和元年度 | 会計区分 | 一般会計 | | |
| 基本政策 | 2 | 健康・福祉 | 事業コード | 大 21 | 健康づくり | 予算科目 | 款 04 | 衛生費 |
| 施策 | 7 | 健康づくり | | 中 03 | 元気・ふれあい・生きがいの推進 | | 項 01 | 保健衛生費 |
| | | | | 小 12 | にこ楽・胎内整備運営事業 | | 目 01 | 保健衛生総務費 |
| 事務区分 | 法定受託事務 | | 〇 | 根拠法令 | 地域保健法 | | | |
| | 法令による義務付け | | | 関連条例 | 胎内市保健福祉施設にこ楽・胎内条例 | | | |
| | 自治事務 | | | | 関連計画 | 健康たいない21 | | |
| | 任意 | | | | | | | |

1 事業の取組状況

| | |
|----------|---|
| 事業の目的・概要 | 市民協働で実施する元気を増やす活動として、元気づくりプログラムと病気予防・健康増進としてがん検診・特定健診や生活習慣病予防活動のほか、子育て支援の場として利用。 |
| 主な実施内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・元気づくりプログラムの実施 ・生活習慣病予防活動の実施 ・施設の管理運営 |
| 実施方法 | 市が直接実施+委託 |

2 事業費の状況（※平成29年度～令和元年度は決算額、令和2年度は当初予算額）

| | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 |
|------------|--|--------|-------|-------|-------|
| 総事業費（千円） | 7,722 | 7,128 | 5,506 | 6,214 | |
| 国・県支出金 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 地方債 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| その他 | 154 | 165 | 188 | 168 | |
| 一般財源 | 7,568 | 6,963 | 5,318 | 6,046 | |
| 人件費（千円） | 1,248 | 1,258 | 1,288 | | |
| 正(h) ※事業費 | 678 | 678 | 678 | | |
| 臨時(h) ※事業費 | 0 | 0 | 0 | | |
| 総事業費+人件費 | 8,970 | 8,386 | 6,794 | | |
| 財源「その他」内訳 | にこ楽・胎内使用料83千円、にこ楽・胎内健康づくり事業参加費負担金90千円、行政財産目的外使用料14千円、コピー代1千円 | | | | |
| 事業費の主な支出内容 | 職員手当等39千円、賞金3,165千円、報償費60千円、旅費5千円、需用費1,417千円、役務費196千円、委託料477千円、使用料及び賃借料147千円 | | | | |

3 指標値の状況

| | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 |
|------|--------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|
| 産出指標 | 名称 | にこ楽・胎内健康づくりプログラム実施回数 | にこ楽・胎内健康づくりプログラム実施回数 | にこ楽・胎内健康づくりプログラム実施回数 | にこ楽・胎内健康づくりプログラム実施回数 |
| | 目標 | 100回 | 100回 | 100回 | 100回 |
| | 実績 | 113回 | 117回 | 99回 | |
| 成果指標 | 名称 | にこ楽・胎内年間利用延べ人数 | にこ楽・胎内年間利用延べ人数 | にこ楽・胎内年間利用延べ人数 | にこ楽・胎内年間利用延べ人数 |
| | 目標 | 10,000人 | 10,000人 | 10,000人 | 10,000人 |
| | 実績 | 11,260人 | 10,045人 | 9,825人 | |
| | 目標比 | 112.6% | 100.4% | 98.3% | |

4 達成度

| 達成度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 |
|-----------------------------------|-------------------|--------|-------|-------|-------|
| 達成度 | ◎ | ◎ | ○ | | |
| ◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない | | | | | |
| 達成度の判定理由 | 目標数値の98%以上となっている。 | | | | |

5 事業の点検項目

| | | | | | |
|-----------------------------|--|--------|-------|-------|-------|
| 妥当性 | 事業が市民の需要（ニーズ）に合っているか | ○ | | | |
| | ○：需要がある △：一部需要がある ▲：需要が低下している ×：あまり需要が無い | | | | |
| | 施策の目標に対してこの事業が貢献しているか | ○ | | | |
| | ○：貢献している △：一部貢献している ×：あまり貢献していない | | | | |
| 実施 | 類似した事業が実施されていないか | × | | | |
| | ○：類似事業がない ×：類似事業がある | | | | |
| | 住民等の参画、協働は可能か | 実施 | | | |
| | ○：検討可能 △：一部検討可能 ×：不可能 実施：実施済 一部実施：一部実施済 | | | | |
| 効率性 | 民間への外部化（業務委託・指定管理者制度等）は可能か | ○ | | | |
| | ○：検討可能 △：一部検討可能 ×：不可能 実施：実施済 一部実施：一部実施済 | | | | |
| | 協働または民間への外部化が不可能な理由 | | | | |
| | 事業実施のプロセスや手続きに改善が必要か | ○ | | | |
| 単位コスト | ○：改善の必要なし △：一部改善が必要 ×：改善が必要 | | | | |
| | 事業費や人件費に削減の余地はないか | ○ | | | |
| | ○：削減の余地なし △：一部削減の余地あり ×：削減の余地あり | | | | |
| | 受益者負担は事業コストに対して適正か | ○ | | | |
| ○：適正である △：検討・見直しが必要 -：該当しない | | | | | |
| 算出方法 | | | | | |
| 実績 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 |

6 改革改善の実施状況（平成29年度～）

| |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・総合政策課（地域おこし協力隊）をはじめ、他課が事業で利用したいという相談には出来るだけ協力し、利用の促進を図った。 ・土日の他課利用はその課の職員に対応してもらうことにより、臨時職員の人員費を抑えた。 |
|--|

7 事業の方向性（案）

| | |
|-----------|---|
| 今後の方向性 | ③ |
| 課題及び今後の対応 | <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の市民が主体的に利用し、「自然と触れ合い」「交流の場」「地域づくり」等を通して、健康づくりの拠点となる施設であるが、地元地区の利用者（参加者）が少ない。市民協働や健康づくりに関心ある参加者が固定的になっている。 <p>【今後の対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中山間地において、隣接する診療所や福祉施設、近在する駐在所、郵便局や農協の施設とともに「小さな拠点」を形成する施設であり、「地域おこし協力隊」をはじめ、全庁的に活用してもらうことで、旧鼓岡小及び旧大長谷小学校区の市民にも親しんでもらう機会をつくれるよう連携を図りたい。 |

8 二次評価

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----------|---|----|---|---|---|----|---|---|--|----|---|--|--|-----|---|--|--|----|--|--|--|----|--|--|--|----|--|--|--|----|--|--|--|
| 今後の方向性 | ③ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 所見 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 今後の方向性 | <table border="1"> <tr> <td>拡充</td> <td>④</td> <td>②</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>⑤</td> <td>③</td> <td></td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>⑥</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td>⑦</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>拡大</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> | 拡充 | ④ | ② | ① | 維持 | ⑤ | ③ | | 縮小 | ⑥ | | | 休廃止 | ⑦ | | | 削減 | | | | 縮小 | | | | 維持 | | | | 拡大 | | | |
| 拡充 | ④ | ② | ① | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 維持 | ⑤ | ③ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 縮小 | ⑥ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 休廃止 | ⑦ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 削減 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 縮小 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 維持 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 拡大 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| コスト投入の方向性 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |